

# 令和7年度 群馬県麻しん・風しん対策会議次第

日時：令和7年6月16日（月）18:30～20:00

形式：Teams 開催

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議 事

- |                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| (1) 麻しん及び風しんの発生動向について               | P1～15  |
| (2) 風しんの追加的対策について                   | P16～30 |
| (3) 風しん抗体検査事業について                   | P31～33 |
| (4) MR ワクチンの流通状況について                | P34～37 |
| (5) 特定感染症検査等事業を活用した麻しん抗体検査の新規実施について | P38～40 |
| (6) 令和7年度群馬県麻しん・風しん対策会議の取組について      | P41    |
| (7) その他                             |        |

## 4 閉 会

## 令和7年度 群馬県麻しん・風しん対策会議出席者一覧

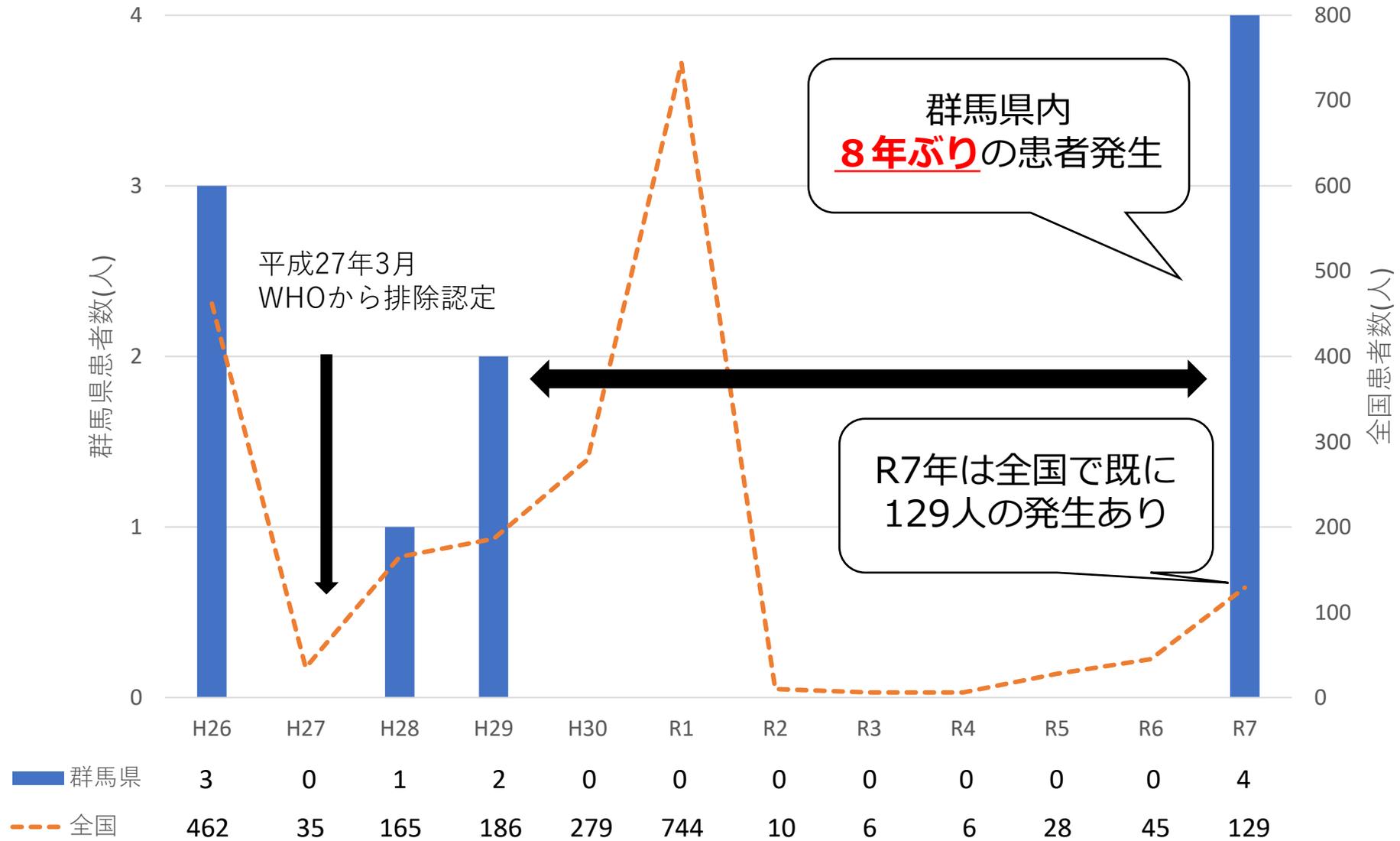
### ◆委員

No.		所属・職名	氏名	備考
1	群馬県医師会	群馬県医師会	今泉 友一	副委員長
2		群馬県医師会	川島 崇	
3	市町村	群馬県市長会会長（高崎市保健予防課長）	森山 貴子	
4		群馬県町村会会長（嬭恋村健康福祉課長）	野寺 美枝	
5	学識経験者	群馬大学医学部附属病院	徳江 豊	委員長
6	事業者団体	群馬産業保健総合支援センター	清宮 和之	
7	保健所長会	前橋市保健所長	大西 一徳	
8	県教委	健康体育課長	山田 知利	
9	県関係課	医務課長	大熊 諭	
10		生活こども部 こども・子育て支援課長	橋本 陽子	
11		生活こども部 児童福祉課母子保健・障害児支援室長	鳥塚 里香	
12		衛生環境研究所長	猿木 信裕	
13		感染症・疾病対策課長	武智 浩之	

### ◆事務局

No.	所属	職名	氏名	備考
1	感染症疾病対策課	感染症危機管理室長	廣田 奈々	
2	予防接種係	予防接種係長（補佐）	浅野 竜也	
3	予防接種係	技師	染谷 留美	
4	感染症対策係	感染症対策係長（補佐）	大場 浩美	
5	感染症対策係	主幹	吉住 聖子	
6	感染症対策係	主任	岡田 侑樹	

# 麻しん患者数の推移(県内及び全国)



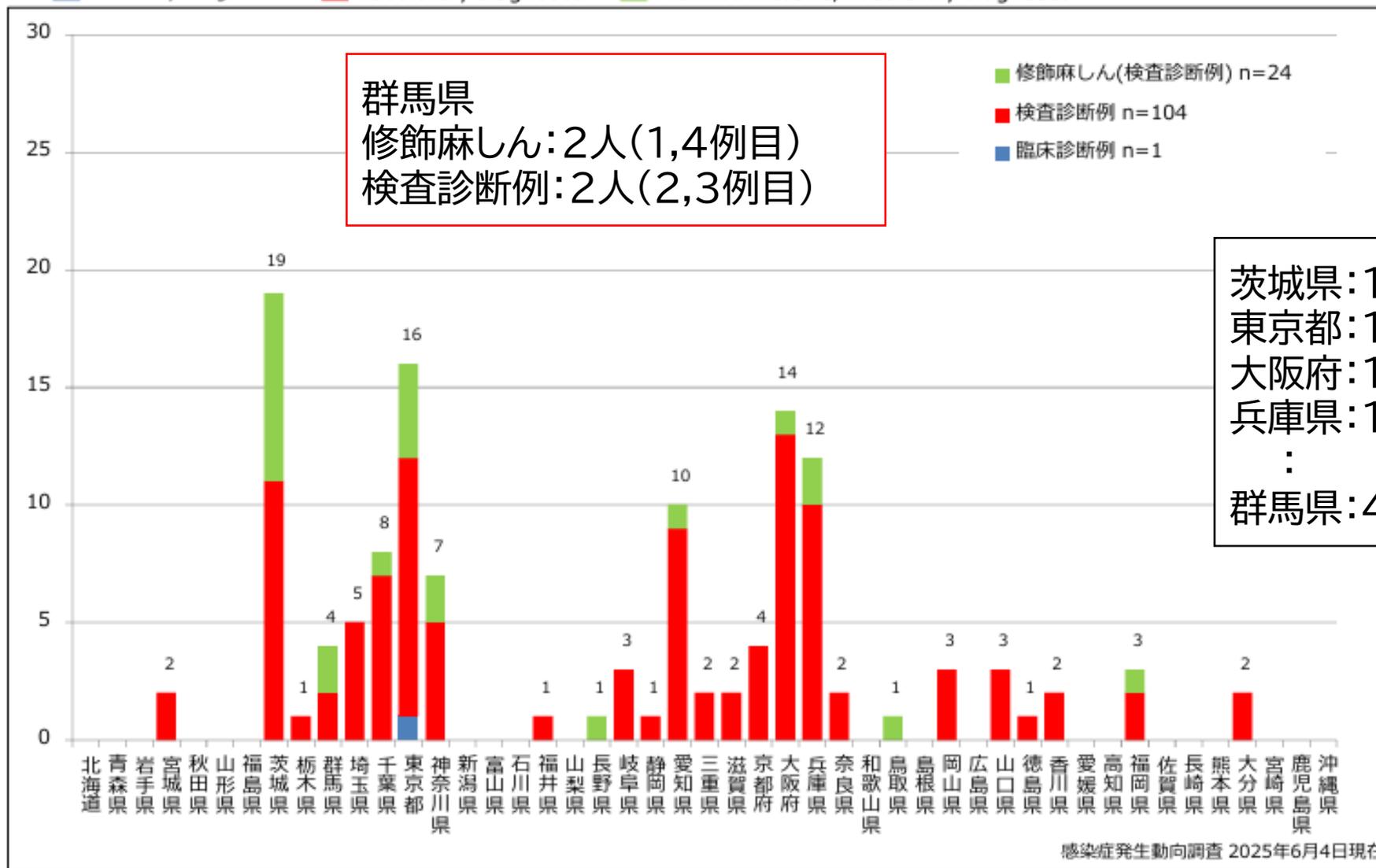
※R7年は群馬県は6/11時点、全国は第22週(6/1)までの速報値

# R7年 麻疹 都道府県別/病型別報告数

## 4. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2025年 第1~22週 (n=129)

Cumulative measles cases by prefecture and methods of diagnosis, week 1-22, 2025 (as of June 4, 2025)

■ Clinically diagnosed   
 ■ Laboratory diagnosed   
 ■ Modified measles, Laboratory diagnosed



群馬県  
修飾麻疹: 2人(1,4例目)  
検査診断例: 2人(2,3例目)

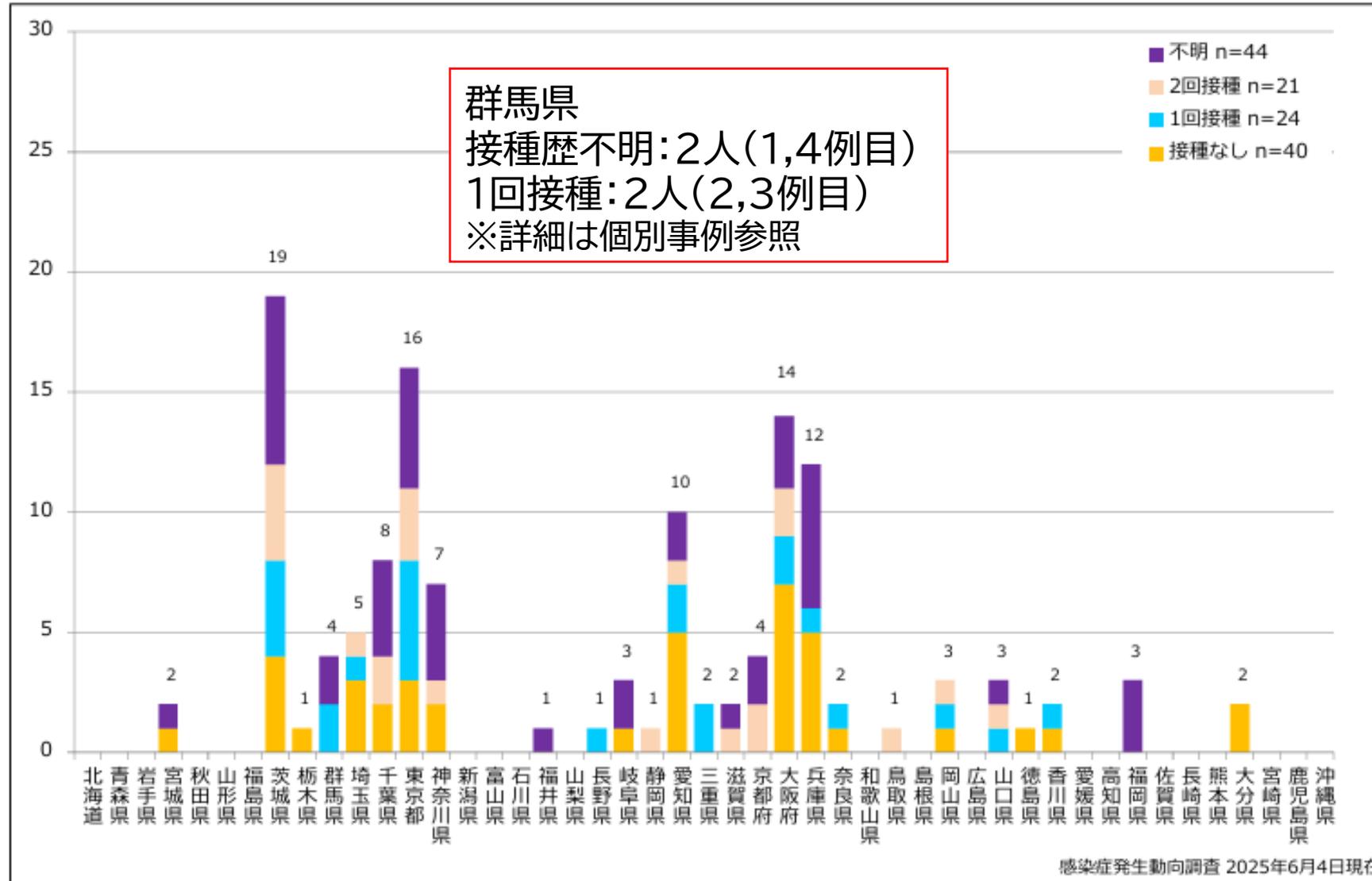
茨城県: 19人  
東京都: 16人  
大阪府: 14人  
兵庫県: 12人  
:  
群馬県: 4人

# R7年 麻疹 都道府県別/接種歴別報告数

## 5. 都道府県別接種歴別麻疹累積報告数 2025年 第1~22週 (n=129)

Cumulative measles cases by prefecture and vaccinated status, week 1-22, 2025 (as of June 4, 2025)

None MCV1 MCV2 Unknown



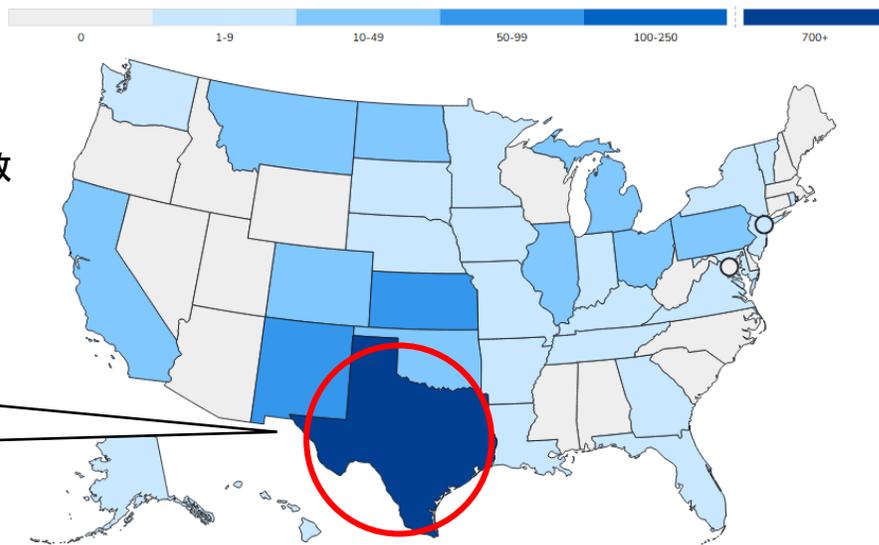
# (参考)ワクチン接種の重要性について

- 米国では、2000年に麻疹排除が達成されているが、2025年1月1日から4月18日までに、WHOアメリカ大陸地域で、3例の死亡例を含む合計2,318例の麻疹患者が確認されている。
- 年齢別には、5歳未満の小児が31%(n=249)、5~19歳が38%(n=304)、20歳以上の成人が29%(n=231)、年齢不明が2%(n=16)を占めている。
- 症例の大部分(96%)はワクチン未接種または接種状況不明で、1%はMMRワクチンを1回接種、2%は2回接種していた。
- 入院が必要な症例は全体の11%(800例中85例)。5歳未満の小児では、19%(249例中47例)に入院が必要であった。
- 小児のMMRワクチン接種率は近年、2019-2020年の95.2%から2023-2024年の92.7%へと低下している。

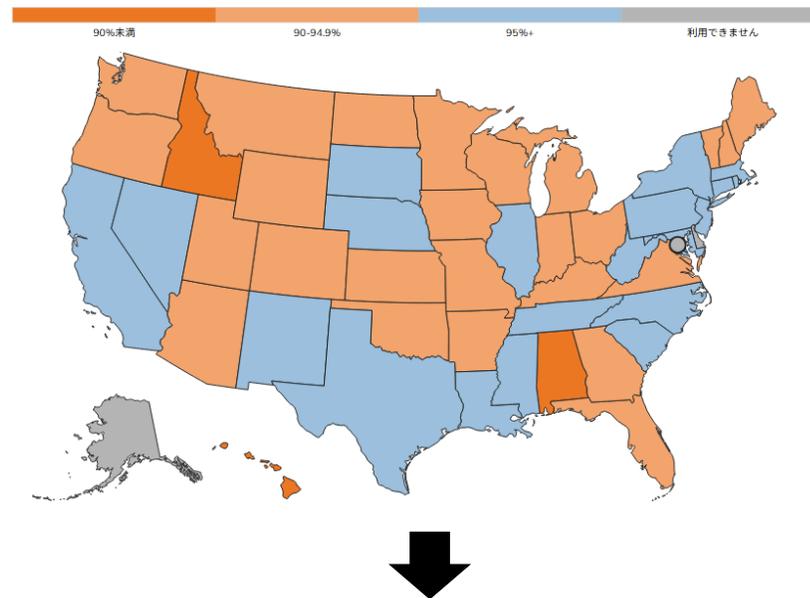
厚生労働省検疫所FORTH:麻疹(はしか) - アメリカ大陸地域 (2025年4月28日)

2025年麻疹患者発生数

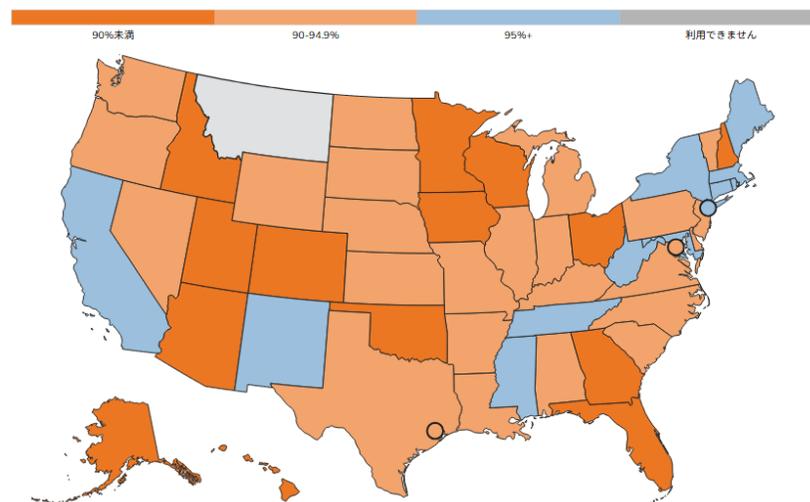
テキサス州で700件以上の発生あり



2019-2020年のワクチン接種率



2023-2024年のワクチン接種率

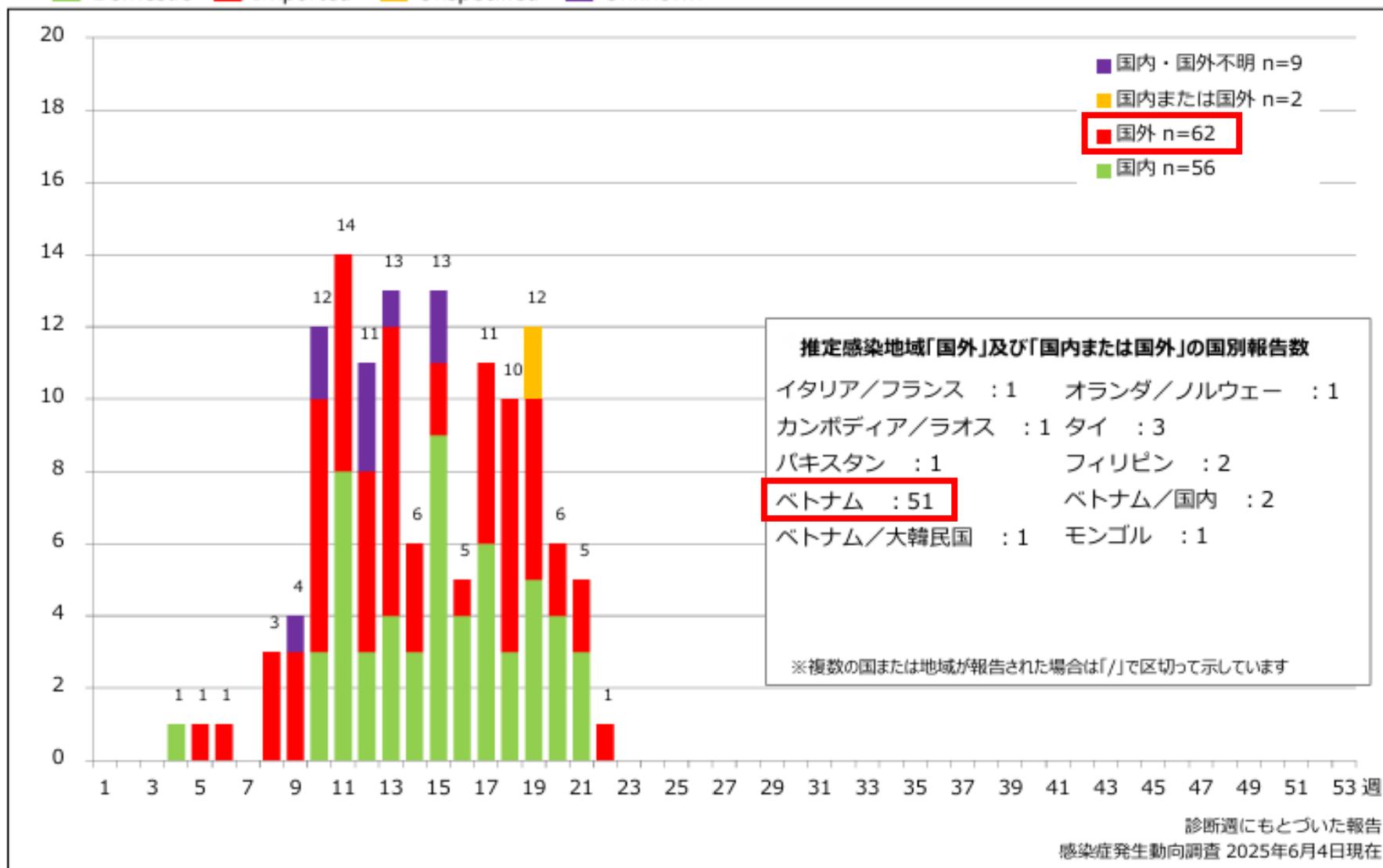


# R7年 麻疹 週別/推定感染地域別報告数

## 8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2025年 第1~22週 (n=129)

Weekly measles cases by acquired region, week 1-22, 2025 (based on diagnosed week as of June 4, 2025)

Domestic Imported Unspecified Unknown



# 令和7年度流行性疾患患者通報業務 (令和7年1月1日～6月11日)

## ■ 通報件数 (件)

麻疹疑い	25
風疹疑い	3
麻疹・風疹疑い	1
合計	29

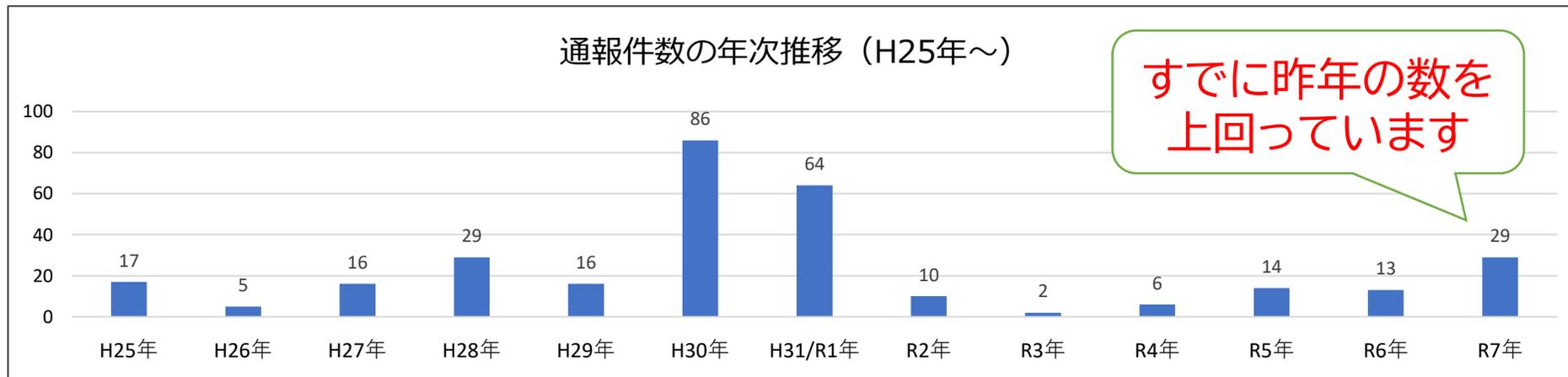
## ■ PCR検査結果

麻疹	4件陽性
風疹	全て陰性

※その他1件報告は受けていないが、麻疹患者の接触者が発症し、検査をした事例あり

## ■ 疑い患者概要 (麻疹疑い+麻疹・風疹疑い26名)

性別	男性：14名 女性：12名
平均年齢	29.0歳 (中央値：26.5歳)
予防接種歴	2回接種：4名 1回接種：5名 接種なし：2名 不明：15名
海外渡航歴	海外渡航歴あり：4名 (うち3名ベトナム/陽性) // なし：20名 // 不明2名



# 県内発生事例① 令和7年3月21日

## 麻しん(はしか)患者の発生について

本日、太田保健所管内の医療機関から麻しんを疑う患者の報告があり、衛生環境研究所で遺伝子検査を実施したところ、陽性であることが判明しました。群馬県内での麻しんの発生は、平成29年以来8年ぶりとなります。

患者の接触者に対し、太田保健所が健康観察を実施しています。

なお、周囲に感染させる可能性のある期間に不特定多数の者が利用する施設及び公共交通機関の利用はありませんでした。

### 1 患者概要

No.	年代	性別	症状	発症日	予防接種歴
1	20代	女性	発熱、発疹、背部痛	3月18日	不明

### 2 経過等

3月15日まで ベトナムに滞在

3月18日 発症(発疹)

3月21日 医療機関に受診、県衛生環境研究所が実施した遺伝子検査で陽性判明

※報道機関各位におかれましては、患者様や御家族などが特定されないよう、個人情報保護に御配慮いただくとともに、医療機関への直接の取材はお控えください。

修飾麻しん  
遺伝子型:B3  
予防接種歴:不明

# 県内発生事例② 令和7年4月26日

麻しん(はしか)患者の発生について(令和7年2例目)  
～麻しんかもと思ったときは、医療機関に連絡してから受診してください～

## 1 概要

令和7年4月26日(土)、富岡保健所管内の医療機関から麻しん患者の届出がありました。  
令和7年では、3月以来、県内2例目です。

## 2 患者の状況等

<患者> 10代 男性

<症状> 咳、発熱、発疹

<経過>

4月 1日(火) ベトナムに渡航

4月18日(金) 咳症状が出現

4月20日(日) ベトナムから帰国、同日、発熱

4月25日(金) 発疹が出現し、医療機関を受診

県衛生環境研究所で遺伝子検査を実施し、麻しんウイルス陽性が判明

**遺伝子型:B3**  
**予防接種歴:1回(本人記憶)**

●人に感染させる可能性がある期間中に患者が利用した施設など

令和7年4月28日時点(※太字下線部:追加事項)

利用日時	利用した交通手段や施設など
令和7年4月19日(土)～20日(日)	日本航空752便 午後11時20分 ベトナム ハノイ空港発 午前6時20分 成田国際空港第2ターミナル着
<u>令和7年4月20日(日) 12時～12時30分</u>	<u>ベイシア富岡店</u>

# 県内発生事例③ 令和7年5月4日

## 麻しん患者の発生について(令和7年3例目)

～麻しんかもと思ったときは、医療機関に連絡してから受診してください～

### 1 概要

令和7年5月4日(日)、富岡保健所管内の医療機関から麻しん患者の届出がありました。  
令和7年に入り、県内3例目です。

### 2 患者の状況等

<患者> 20代 男性

<症状> 発熱、鼻水、発疹

<経過>

3月20日(木)～4月10日(木) ベトナムに渡航

4月26日(土) 発熱、鼻水が出現

5月 2日(金) 発疹が出現

5月 3日(土) 医療機関を受診

5月 4日(日) 県衛生環境研究所で遺伝子検査を実施し、麻しんウイルス陽性が判明

遺伝子型:B3  
予防接種歴:1回(本人記憶)

### 人に感染させる可能性のある期間に患者が利用した施設

令和7年5月7日時点

利用日時	利用した施設
令和7年4月28日(月) 15時～15時10分頃	クスリのアオキ富岡店
令和7年5月1日(木) 15時～15時10分頃	

# 県内発生事例④ 令和7年5月13日

麻しん患者の発生について(令和7年4例目)  
～麻しんかもと思ったときは、医療機関に連絡してから受診してください～

## 1 概要

令和7年5月13日(火)、富岡保健所管内の医療機関から麻しん患者の届出がありました。令和7年に入り、県内4例目です。なお、当該患者は、令和7年4月26日(土)に公表した麻しん患者(令和7年2例目)の接触者です。

## 2 患者の状況等

<患者> 40代 男性

<症状> 全身倦怠感、のどの違和感、発熱

<経過>

5月10日(土) 全身倦怠感、のどの違和感が出現

5月11日(日) 発熱

5月12日(月) 富岡保健所管内の医療機関を受診

5月13日(火) 県衛生環境研究所で遺伝子検査を実施し、麻しんウイルス陽性が判明

遺伝子型:B3

修飾麻しん

予防接種歴:1回(本人記憶)

※届出上は不明

## 4 感染させる可能性のある期間に患者が利用した施設

利用日時	利用した施設
令和7年5月10日(土) 12時5分～12時25分頃	はなまるうどん 宇都宮西原店 (栃木県宇都宮市西原3-3-17)

# 麻しんの発生状況について



群馬県麻しん



すべて ニュース 画像 ショッピング 動画 ショート動画 地図 もっと見る

ツール



群馬県

## 麻しん（はしか）に注意しましょう

群馬県内の発生状況。麻しんは、2008年以降、感染症法上の全数把握対象疾患となりました。県内では、2016年は1例（輸入例）、2017年は2例（輸入例、国内感染例）の患者が報告...

どんな病気？

予防方法は？

群馬県内の発生状況

他県での発生状況

群馬県(衛生環境研究所)のHPに掲載しています



Gunma Prefecture

群馬県

キーワードでさがす

Google 提供



すべて ページ PDF



色・文字



Language

くまの魅力・観光・リトリート | 防災・安全・レジリエンス | 健康・福祉 | 暮らし・環境・グリーンイノベーション  
子育て・教育・文化・スポーツ | しごと・産業・農林・土木 | 県政情報・DX・県の計画 | 組織からさがす | お問い合わせ

トップページ > 組織からさがす > 健康福祉部 > 衛生環境研究所 > 麻しん（はしか）に注意しましょう

## ■ 麻しん（はしか）に注意しましょう

更新日：2025年6月4日

印刷ページ表示

かつては毎年春から初夏にかけて流行が見られていましたが、平成27年3月27日、世界保健機関西太平洋地域事務局により、日本が麻しんの排除状態にあることが認定されました。

しかしそれ以降も、海外で麻しんに感染し、日本国内へ持ち込まれる例が報告されており、それに伴った、国内での感染例も報告されています。

2020年から2022年までは新型コロナウイルス感染症による入国規制により、患者数は激減しましたが、2023年以降、再び麻しんの感染事例が増えてきています。

2024年においては10月以降、近県で麻しん患者の報告が続いていました。

2025年3月頃より国内の患者報告数が増えており、海外渡航歴がない方の感染も確認されています。

海外に行かれる場合は、発生状況に注意するとともに予防接種歴について確認しましょう。

★群馬県内での発生状況

☆他県での発生状況

このページを見ている人は  
こんなページも見ています

感染症情報トップページ(衛生環境研究所)

群馬県内の最新の動向 2025年第22週  
(5月26日～6月1日) (衛生環境研究所)

麻しん（はしか）に注意しましょう(衛生環境研究所)

伝染性紅斑(衛生環境研究所)

百日咳(衛生環境研究所)

AI（人工知能）はこんなページをおすすめします

呼吸器感染症

麻しん患者の発生について（令和7年3例

# 麻しんの発生状況について

## 群馬県内の発生状況

### 群馬県内の発生状況

麻しんは、2008年以降、感染症法上の全数把握対象疾患となりました。  
県内では、2016年は1例（輸入例）、2017年は2例（輸入例、国内感染例）の患者が報告されています。

2025年3月より国内の報告が増加しており、群馬県でも8年ぶりに患者の報告がありました。

2025年の麻しん患者発生状況（2025年6月4日現在）

番号	届出受理保健所	年齢	性別	陽性判明日	接触者の特定できない施設の利用
1	太田	—	—	3月21日 (金曜日)	なし
2	富岡	10歳代	男	4月25日 (金曜日)	あり 第1報（令和7年2例目） (PDF: 305KB) 第2報（令和7年2例目） (PDF: 224KB)
3	富岡	20歳代	男	5月4日 (日曜日)	あり 第1報（令和7年3例目） (PDF: 297KB) 第2報（令和7年3例目） (PDF: 226KB)
4	富岡	40歳代	男	5月13日 (火曜日)	あり 第1報（令和7年4例目） (PDF: 320KB)

※接触者の特定できない施設の利用があった場合に、感染拡大防止の観点から年齢や性別を公表していません。

## 他県での発生状況

### 他県での発生状況

麻しん患者が、周囲に感染させる可能性のある期間内に不特定多数の人と接触した可能性がある場合、その立ち寄り場所等の情報を提供しています。

この情報提供は感染症拡大防止のために行われています。

同一日時に当該施設を利用された方で、注意期間に記載の日付までに発熱・発疹などの麻しんを疑う症状が現れた場合は、すみやかに医療機関へ連絡の上、医師の指示に従い受診しましょう。

※麻しんウイルスは、空気中での生存期間は2時間以内とされています。麻しん患者の利用日以外に当該施設を利用された場合は、感染のおそれはありません。

他県で公表されている麻しん患者発生に関連する注意喚起情報（2025年6月4日現在）

発生自治体	発生日	発症に注意する期間	詳細（各自治体のホームページ等）
香川県	5月12日 (月曜日)	5月31日 (土曜日)	麻しん（はしか）患者発生に関する注意喚起について   香川県 <外部リンク>
神奈川県	5月16日 (金曜日)	6月6日 (金曜日)	麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について - 神奈川県ホームページ <外部リンク>
兵庫県	5月23日 (金曜日)	6月9日 (月曜日)	兵庫県／麻しん（はしか）患者の発生 (PDF: 125KB) <外部リンク> 麻しん（はしか）患者の石垣島来島に伴う注意喚起 (PDF: 69KB) <外部リンク>
愛知県	5月26日 (月曜日)	6月13日 (金曜日)	麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起について - 愛知県 <外部リンク>
千葉県	公表なし	6月17日 (火曜日)	川口市／麻しん（はしか）患者の発生に伴う注意喚起 (PDF: 52KB) <外部リンク>

・発生日…麻しん検査で陽性になった日

・発症に注意する期間…麻しん患者と接触した場合、健康観察を要する最大の日数（接触から21日間）

※注意期間が「（※注）」の場合…不特定多数の接触者につながる行動歴は確認されていない

## 麻疹・風しん(疑いを含む)患者向けリーフレット やさしい日本語版、スペイン語版、ポルトガル語版、ベトナム語版、ネパール語版、中国語版、英語版

### 医師の皆様へ

医療機関において、麻疹・風しん(疑いを含む)患者様が受診した場合、保健所にご連絡いただき、積極的疫学調査の実施についてご協力ください。

感染症法に基づく医師の届出のお願い(厚生労働省) <外部リンク>

麻疹・風しん(疑いを含む)患者様へ感染拡大防止について説明するためのリーフレットです。診療時に御活用ください。

📄 麻疹・風しん疑いと診断された人へ(通常日本語版) (PDF: 443KB)

📄 やさしい日本語版 (PDF: 426KB)

📄 スペイン語版 (PDF: 438KB)

📄 ポルトガル語版 (PDF: 399KB)

📄 ベトナム語版 (PDF: 405KB)

📄 ネパール語版 (PDF: 472KB)

📄 中国語簡体字版 (PDF: 488KB)

📄 中国語繁体字版 (PDF: 329KB)

📄 英語版 (PDF: 416KB)

麻疹患者と接触した方へ注意事項を説明するためのリーフレットです。診療時に御活用ください。

📄 麻疹 接触者向けリーフレット(やさしい日本語版) (PDF: 210KB)

📄 麻疹 接触者向けリーフレット(ベトナム版) (PDF: 262KB)

## 麻疹接触者向けリーフレット(令和7年5月更新) やさしい日本語版、ベトナム語版

### やさしい日本語版

麻疹や風疹という病気に かかったかも知れない人へ

他の人にうつさないために 外に出ないように してください

この病気に かかったことが ない人や、  
予防接種を 2回 受けていない人は 特に  
病気が うつりやすいです。

予防接種とは 病気にならないために 受ける 注射

症状が悪くなったときは 病院に行く 前に  
病院に 電話して ください

電話するときは 保健所に 電話してください

麻疹の人と 会った人への おねがい

◆ \_\_\_\_月 \_\_\_\_日までの おねがい

- 人がたくさんいるところへ 行かないでください。
- バスや電車に のらないでください。
- 毎日 体温(体のねつ)を はかって、体の 調子を 確認してください。

◆ 次の病気の 症状がある人は、保健所に 電話を してください

せき	のどが いたい
はなみず	くしゃみ
目が赤い、目やにが 出る	光が まぶしい
体が だるい	熱が ある
体に 赤い ぼっしんが 出る	

◆ 電話するところ

平日 8:30~17:15 → \_\_\_\_保健所

その他の 時間 → 群馬県庁 027-223-1111

※電話で「麻疹の人と 会いました。今、体の 調子が 悪い。」と 伝えてください。  
後で、保健所の人から 電話が きます。

◆ 病院に行く前に 電話を してください。

- 病院の人に「麻疹の人と 会いました。」と 伝えてください。
- 他の人に うつらないように、別の 入り口や 廊下を 使うことがあります。
- 病院の人の 言うことを きいてください。

### 患者用

### ベトナム語版

GỬI ĐẾN NHỮNG NGƯỜI CÓ KHẢ NĂNG MẮC PHẢI BỆNH SỞI/ BỆNH SỞI ĐỨC

Để không gây lây nhiễm cho những người xung quanh, hãy hạn chế ra ngoài!

Bệnh đặc biệt dễ bị lây nhiễm đối với những người chưa từng mắc bệnh, hoặc chưa tiêm đủ 2 mũi tiêm chủng.

Tiêm chủng là mũi tiêm phòng nhằm không bị lây nhiễm bệnh.

Trường hợp tình trạng bệnh trở nên xấu đi, hãy liên lạc tới bệnh viện trước khi đi thăm khám

- Không ra ngoài cho tới khi nhận được kết quả kiểm tra xét nghiệm.

Thông báo dành cho những người đã tiếp xúc với bệnh nhân mắc bệnh sởi

Tr

◆ Vui lòng thực hiện những điều sau cho đến ngày \_\_\_\_ tháng \_\_\_\_

- Không đi đến những nơi tập trung đông người.
- Tránh sử dụng phương tiện công cộng như tàu điện, xe bus.
- Vui lòng đo nhiệt độ mỗi ngày và kiểm tra tình trạng sức khỏe của mình.

◆ Khi phát hiện các triệu chứng sau đây, vui lòng gọi điện cho Trung tâm y tế công cộng (Hokenjo)

Ho	Đau họng
Chảy nước mũi	Hắt hơi
Mắt đỏ, xung huyết/ra ghèn mắt	Cảm thấy chói/lóa mắt
Người mệt mỏi/không có sức	Sốt
Nổi mẩn đỏ trên người	

~ 17:15 → Trung tâm y tế công cộng \_\_\_\_

◆ Ngoài khung giờ phía trên → Văn phòng chính quyền tỉnh Gunma (Gunmakencho): 027-223-1111

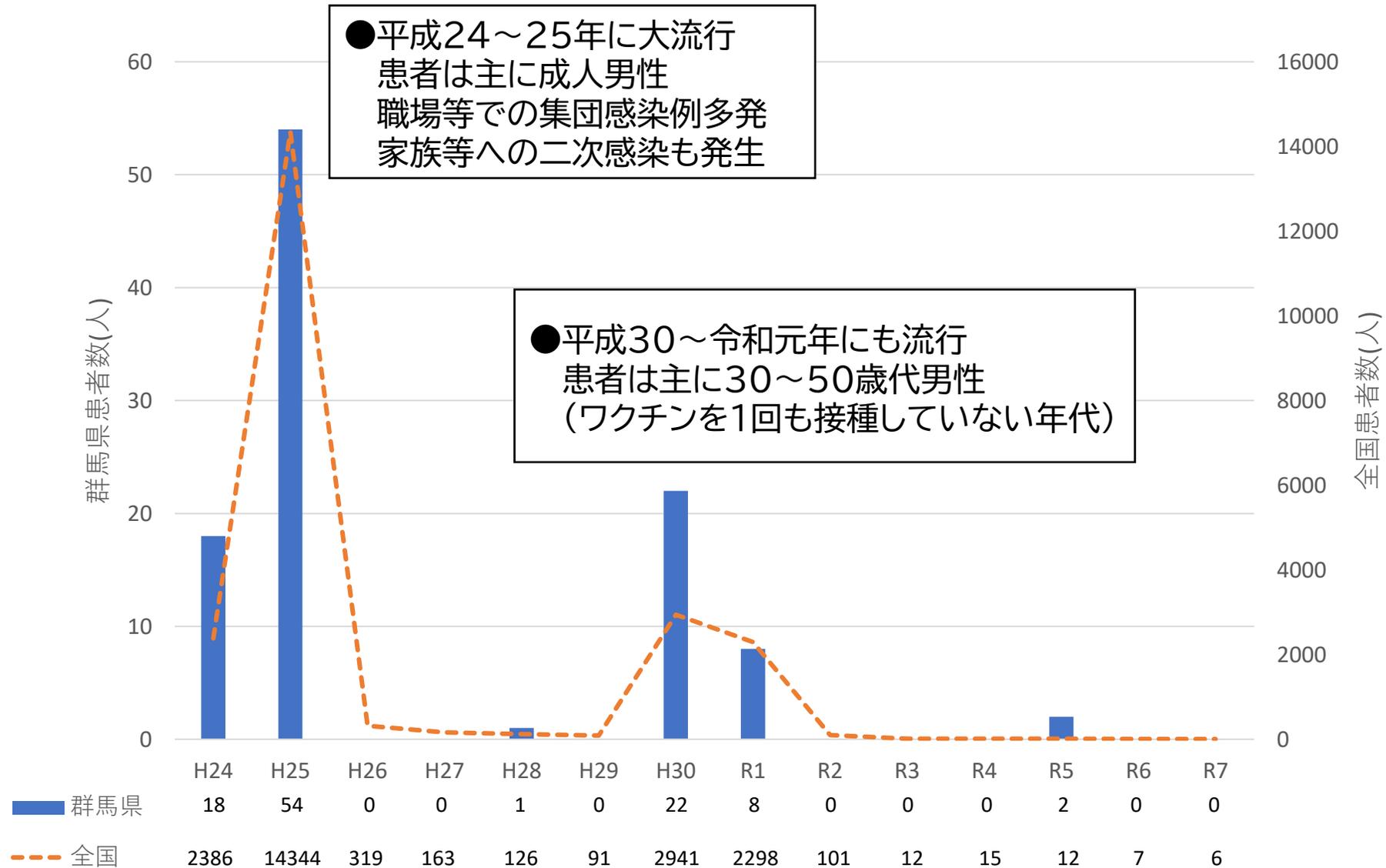
※Hãy thông báo qua điện thoại về việc bạn đã tiếp xúc với bệnh nhân bị bệnh sởi và hiện tại bạn đang cảm thấy sức khỏe không tốt, có những triệu chứng gì? Sau đó, bạn sẽ nhận được cuộc gọi từ trung tâm y tế công cộng.

◆ Trước khi đi khám bệnh, hãy gọi điện trước cho bệnh viện

- Hãy thông báo với nhân viên bệnh viện rằng "Tôi đã tiếp xúc với người mắc bệnh sởi"
- Để tránh lây lan cho người khác, có thể sẽ sử dụng lối vào hoặc phòng riêng biệt. Khi đi khám, xin vui lòng làm theo chỉ dẫn của cơ sở y tế.

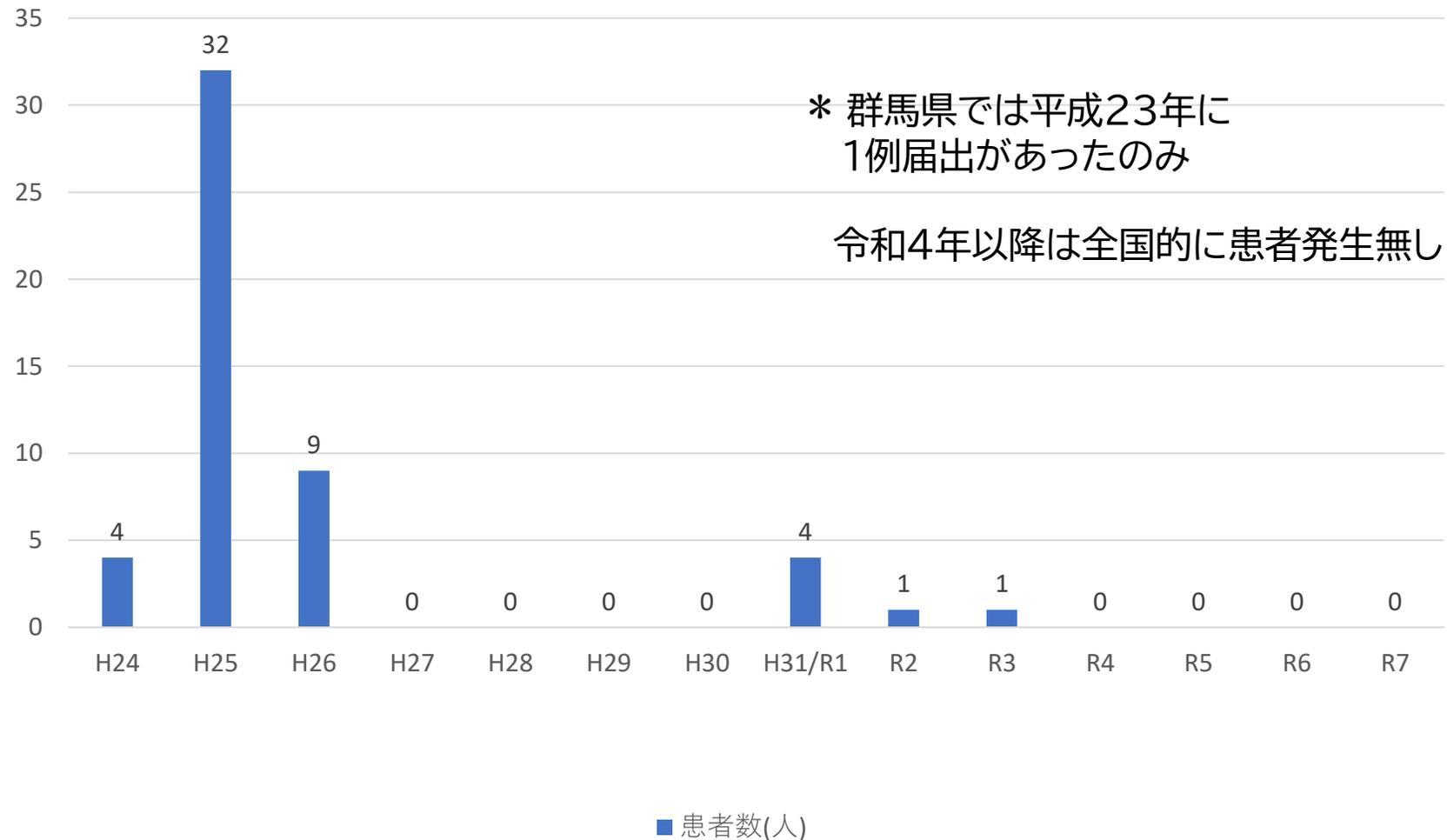
### 接触者用

# 風しん患者数の推移(県内及び全国)



※R7年は群馬県は6/11時点、全国は第22週(6/1)までの速報値

# 先天性風しん症候群患者数(県内及び全国)



※R7年は群馬県は6/11時点、全国は第22週(6/1)までの速報値

# 風しんの追加的対策

平成30年夏以降の風しんの感染拡大を受け、過去に公的に予防接種を受ける機会がなかった世代の男性を対象として、3年間、全国で抗体検査と予防接種法に基づく定期接種を実施することとした。

事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・抗体検査</li><li>・予防接種(抗体価が低い者のみ)</li></ul>
目的	集団予防(風しんのまん延防止)
対象者	1962年(昭和37年)4月2日～1979年(昭和54年)4月1日までの間に生まれた男性
実施主体	市町村
事業実施期間	平成31年4月～令和7年3月31日(当初は令和4年3月31日まで)
根拠	<ul style="list-style-type: none"><li>・特定感染症検査等事業実施要綱</li><li>・予防接種法</li></ul>
事業費の負担割合	国1/2 県1/2
その他	新型コロナウイルス感染症に伴う受診控え、健診の実施時期の見直し等の様々な影響により、当初の見込みどおりには進まなかったため、令和7年3月31日まで延長されていた。 ※MRワクチンの供給不足により、ワクチン接種のみ2年間延長

# 風しんの追加的対策の目標と実績

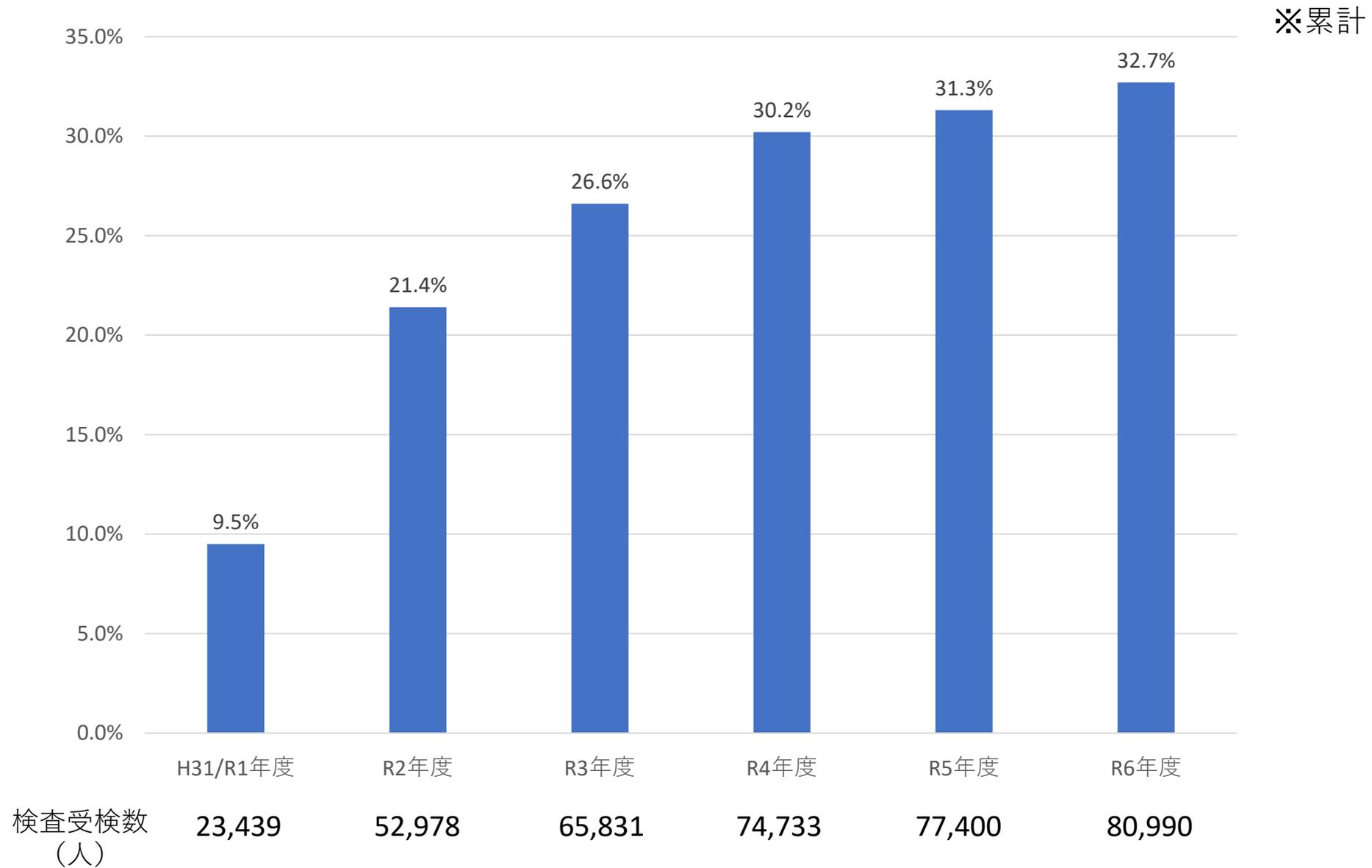
## 目標

令和6年度群馬県麻しん・風しん対策会議の取組目標  
 成人男性に対する「風しんの追加的対策」を推進し、県平均で対象者の受検率40%以上、うち陰性(予防接種対象)者のワクチン接種率95%以上をめざす。(最終年度)

## 実績

群馬県	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	累計
抗体検査件数 (件)	23,439	29,539	12,853	8,902	2,667	3,590	80,990
検査陰性者数 (人)	6,386	7,351	3,414	2,091	664	910	20,816
予防接種件数 (件)	5,433	5,976	3,314	1,751	592	790	17,856
検査受検率(%) ※累計	9.5	21.4	26.6	30.2	31.3	32.7	<b>32.7</b>
検査陰性者に 対する 予防接種率(%)	85.1	81.3	97.1	83.7	89.2	86.8	<b>85.8</b>
クーポン券累計発行人数(人)							247,430

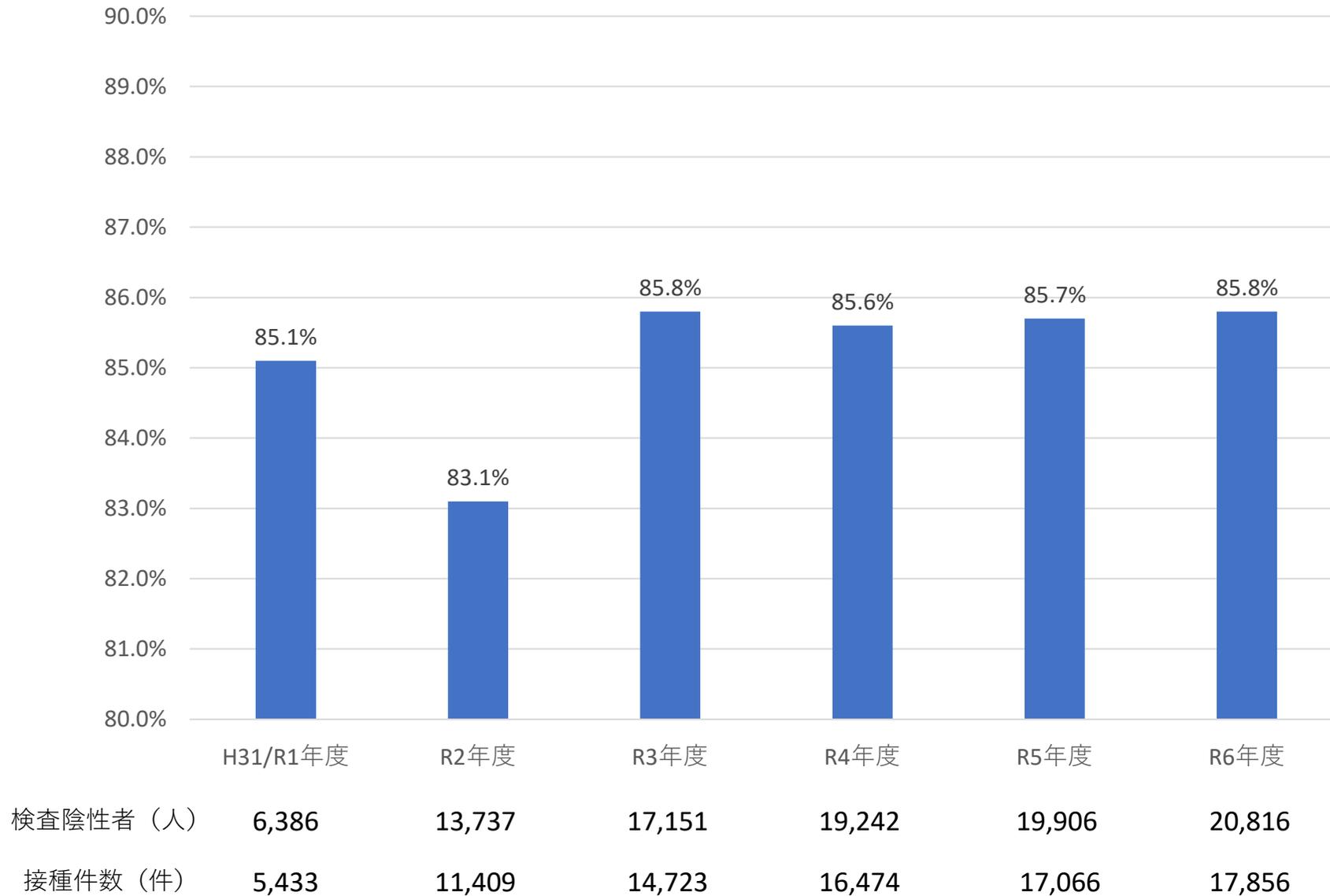
# クーポン券発行枚数に対する抗体検査受検率の年次推移



※クーポン券発行枚数：247,430枚とする

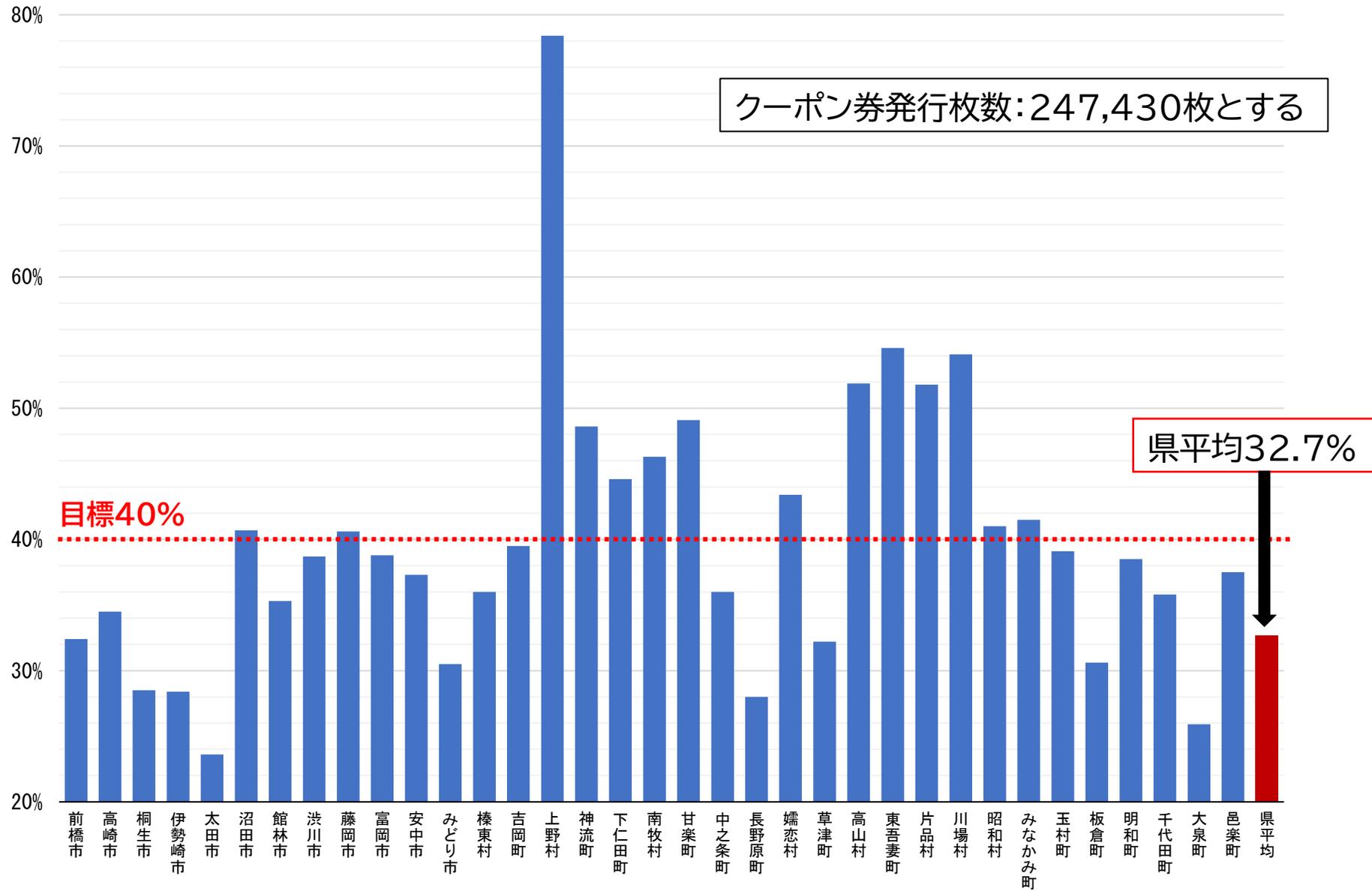
# 検査陰性者に対するワクチン接種率の年次推移

※累計



# クーポン券発行枚数に対する抗体検査受検率

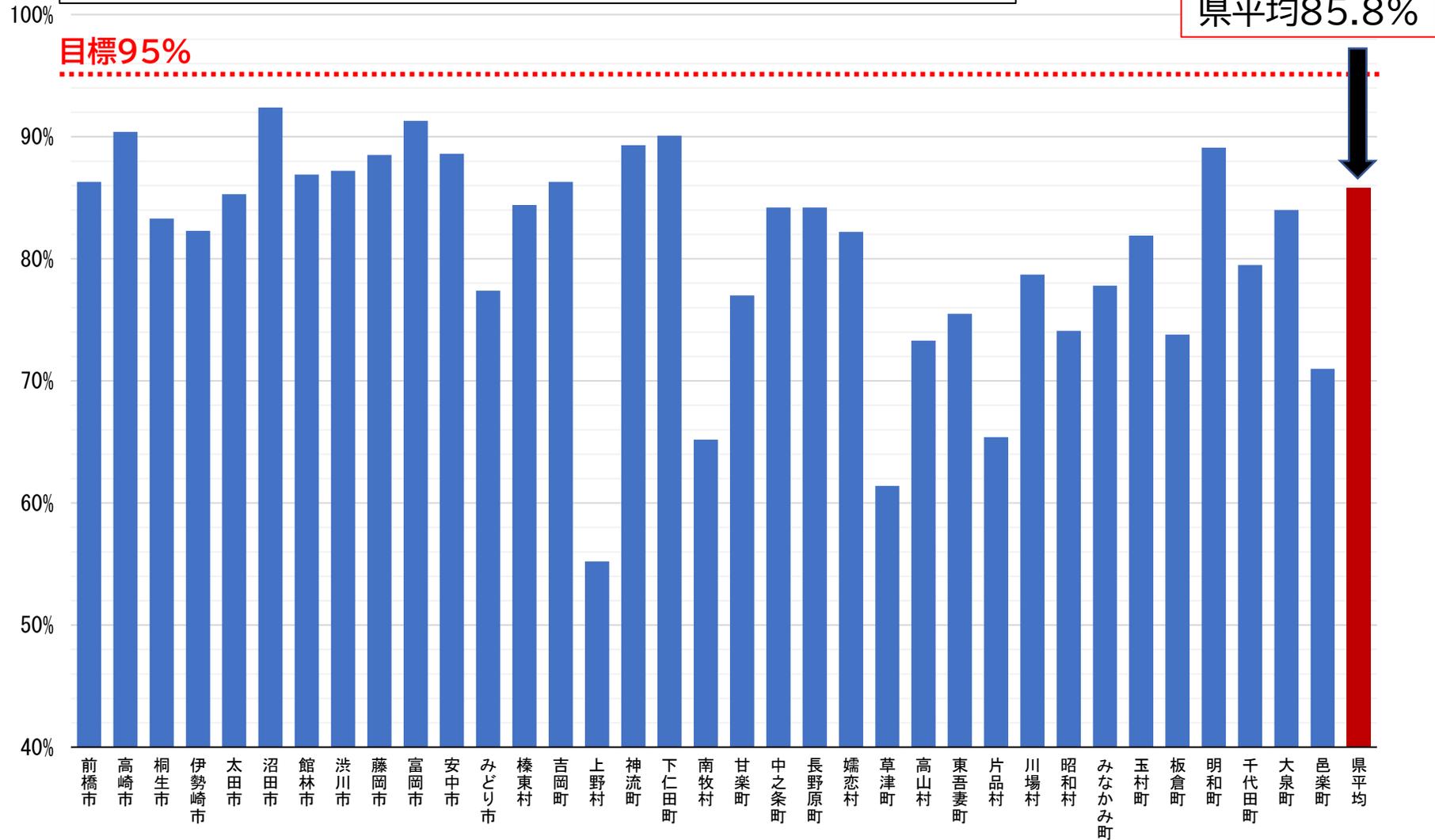
※累計



# 検査陰性者に対するワクチン接種率

※累計

対象者:239,822人(陽性者+接種者=78,030人)  
陽性者:60,174人  
陰性者:20,816人(予防接種:17,856人)



# (参考)令和6年度風しんの追加的対策に係る群馬県の取組

## 県民向け広報(抗体検査・予防接種)

- SNSによる周知(11月)  
→群馬県デジタル窓口、X
- チラシの配布(12月)  
→旅館組合、群馬県商工会議所連合会、生命保険会社、群馬ヤクルト販売会社等へ配布
- ラジオ放送による周知(1~2月)  
→ラジオ高崎、FMOZE、FMぐんま(スポット放送)

## 医療機関・市町村への通知(予防接種)

- 接種勧奨に関する通知  
令和7年1月8日付感疾第736-89号通知  
「麻しん及び風しんの定期接種対象者に対する積極的な接種勧奨等について(周知依頼)」
- 5期接種に風しん単味(R)ワクチンが使えることについての通知  
令和6年12月19日付感疾第736-84号通知  
「乾燥弱毒性麻しん風しん混合ワクチンの今後の供給見通しについて(周知依頼)」

## 群馬県デジタル窓口

今年度46歳~62歳になる男性!  
今年度まで無料  
・風しん抗体検査  
・予防接種  
7割の方が未使用です。  
(通常費用) 抗体検査と予防接種で 約15,000円 → クーポン券を持参で 0円!!  
今年度46歳~62歳になる男性は、令和7年3月(※)まで、風しん抗体検査や予防接種を原則無料で受けられます。詳しくは群馬県HPからご覧ください。  
※終了時期はお住まいの市町村にご確認ください。  
群馬HPはこちらから  
問合せ先: 県感染症・疾病対策課 (027-226-3316)

## X(旧Twitter)

今年度46歳~62歳になる男性は、令和7年3月(※)まで、風しん抗体検査や予防接種を原則無料で受けられます。詳しくは群馬県HPからご覧ください。  
※終了時期はお住まいの市町村にご確認ください。  
県HP: <https://www.pref.gunma.jp/page/2632.html>  
今年度46歳~62歳になる男性!  
今年度まで無料  
・風しん抗体検査  
・予防接種  
7割の方が未使用です。  
(通常費用) 抗体検査と予防接種で 約15,000円 → クーポン券を持参で 0円!!  
△ タグ付けする □ 件の説明を追加  
① 全員が返信できます

## チラシ

無料!  
昭和37年4月2日から  
昭和54年4月1日生まれの男性は、  
風しんの抗体検査と予防接種を受けられます!

風しんって?  
「風しんは、風しんウイルスによって起こる急性の感染症です。発熱や、咳、発疹等が主な症状で、軽微な方が多いですが、稀に重症化します。非常に強い感染力をもち、症状が出る前や無症状でも、人から人へうつる可能性があります。妊婦の方が感染すると、生まれてくる赤ちゃんに重篤な影響がある可能性があります。ワクチンで風しんを予防し、自分、周り、未来の命を守ることに協力ください。」

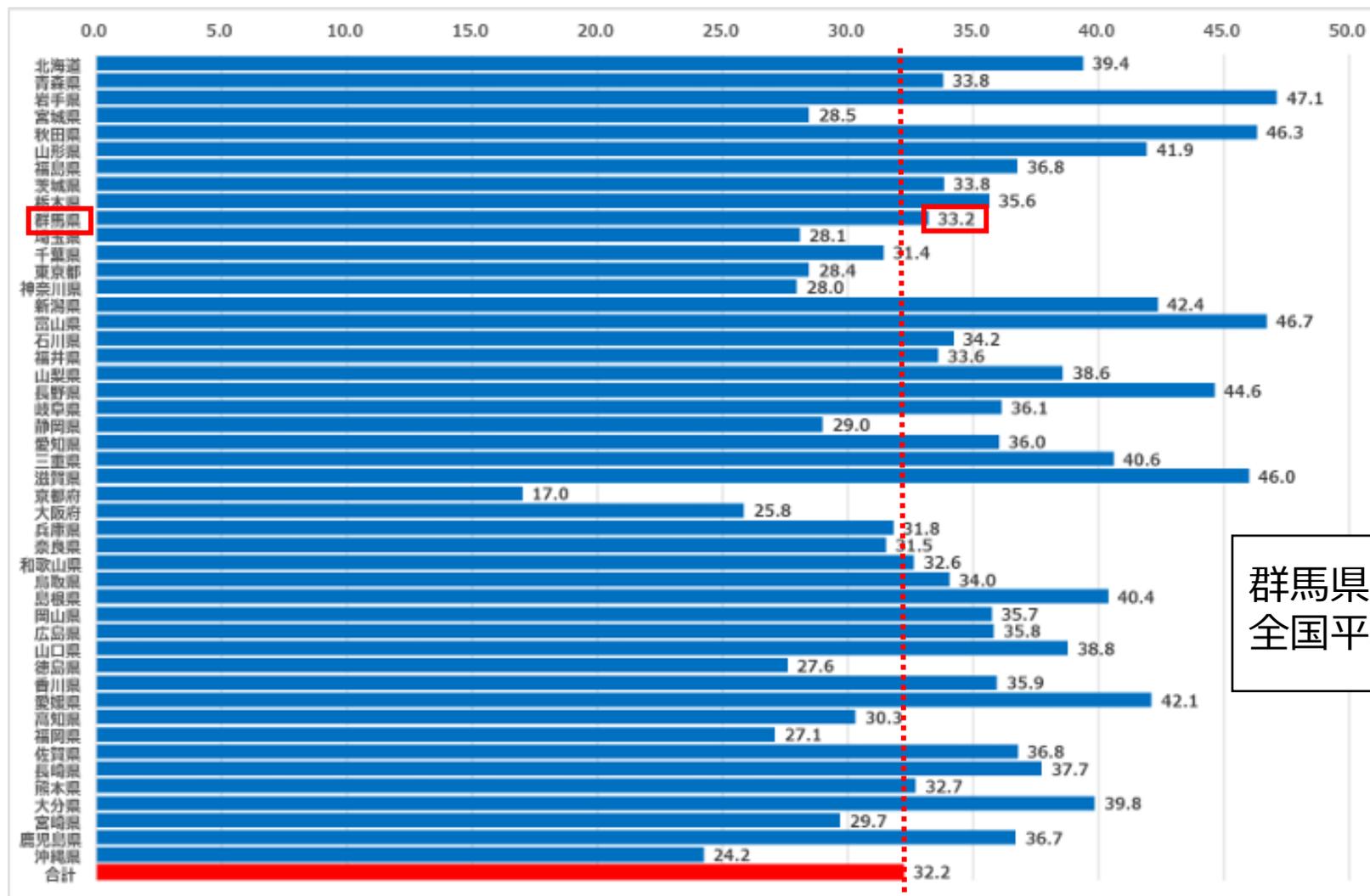
なぜこの年齢なの?  
昭和37年4月2日~昭和54年4月1日生まれの男性は、風しんが定期予防接種の対象とならなかった方々です。そのため、風しんにかかりやすく、職場や家庭、人混みなどで、無意識に感染拡大させる懸念が強いことが分かっています。そこで、厚生労働省の対策により、2024年度(2025年3月末)までは原則無料で抗体検査と予防接種を受けられるようになりました。過去に風しんに罹患したことがあったり、予防接種を受けたことがあったりしても、現時点で免疫がある(抗体価が十分に高い)とは限りません。まずは抗体検査を受けて、ご自身に免疫があるかどうかチェックしましょう。

自治体が無料クーポン券を発行しています!  
無料クーポン券は、こんなふうに使えます。  
1 検査・接種可能な医療機関で!  
2 職場の健康診断で!  
3 人間ドックで!  
無料クーポン券が手元に無い方は、お住まいの市町村へお問い合わせ下さい。

群馬県 風しん 成人男性

# 都道府県別の抗体検査受検率

図16 各都道府県別の抗体検査実施者割合（厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部感染症対策課調査）  
（%）



群馬県：33.2%  
全国平均：32.2%

# 風しんの追加的対策の進捗状況

## 風しんの追加的対策の進捗状況

### 目標

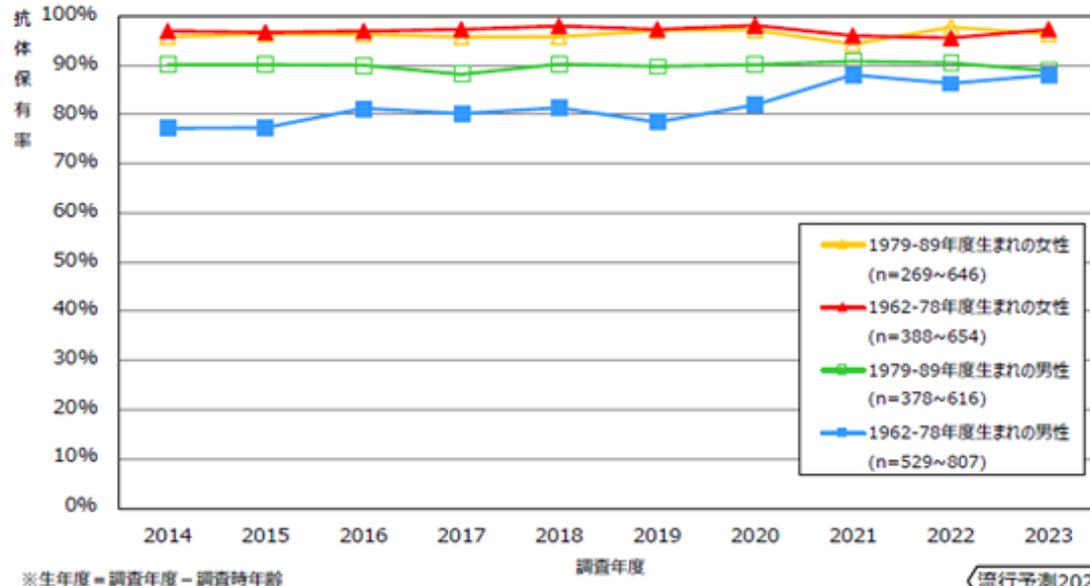
- 【対象】 **1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性（令和6年度45歳から62歳）**
- 【目標】 (1) **2022年12月までに**、対象世代の男性の**抗体保有率を85%**に引き上げる。  
(2) **2024年度末までに**、対象世代の男性の**抗体保有率を90%**に引き上げる。

### 進捗

対象世代の男性（1962年度～1978年度生まれの男性）の抗体保有率（暫定値）：**88.1%**

### 出生年度別風疹HI抗体保有状況(抗体価1:8以上)の年度推移

2023年度時点（2025年1月集計の暫定値）



2018年度：81.1%（95%CI：78.0～84.2%）

2019年度：78.1%（95%CI：74.6～81.6%）

2020年度：82.1%（95%CI：79.2～85.0%）

2021年度：87.9%（95%CI：85.7～90.1%）

2022年度：86.6%（95%CI：84.3～89.0%）

2023年度：88.1%（95%CI：85.6～90.6%）（暫定値）

※生年度 = 調査年度 - 調査時年齢

流行予測2023

出典：国立感染症研究所 2014～2022年度感染症流行予測調査（2023年度は2025年1月集計の暫定値）

第94回厚生科学審議会感染症部会（令和7年3月26日）資料から抜粋

# 風しんの発生動向

## 風しんの発生動向

### 風しん・CRS発生報告数の年次推移

年	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
風しん										294	147	87	378	2,386	14,344	319	163	126	91	2,941	2,298	101	12	15	12	7
CRS	0	1	1	1	1	10	2	0	0	0	2	0	1	4	32	9	0	0	0	0	4	1	1	0	0	0

※ CRSは1999年4月～開始（2006年の報告から感染地域が報告対象となった）  
 ※ 「感染症発生動向調査」に基づき健康・生活衛生感染症対策部において作成。  
 ※ 2024年は2025年1月7日時点の速報値。



**CRSは直近3年間発生がない状況**

**2024年の風しん発生報告数は2008年に全数報告対象に変更されて以来過去最低値である**

# 風しんに関する今後の対応について

## 抗体検査・予防接種の実施状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	実績累計
抗体検査	約125万人	約177万人	約85万人	約53万人	約29万人	約27万人	約495万人
予防接種	約27万人	約36万人	約20万人	約12万人	約6.5万人	約5万人	約107万人

※クーポン券により実施された抗体検査数のみであり、自治体が独自に実施した抗体検査の人数を含まない。クーポン券を利用した件数（国保連が処理した実績件数）令和7年3月現在

## 風しんに関する今後の対応について

### 追加的対策の終了と今後の風しん対策について

- 最新（2023年）の当該世代の抗体保有率は暫定値で88.1%となりWHOが定める集団免疫閾値を超え、CRSは直近3年間発生がない状況、また風しん発生報告数も過去最低値であり、風しんの感染拡大防止の施策目的は達成されていると評価できる。
- このため、追加的対策は、2024年度までの時限的なものであるところ、当初の予定どおり今年度で終了とする。
- 引き続き、風しんのまん延及びCRSの発生を防止することは重要であるため、来年度以降も妊娠を希望するとする女性等に対する風しん抗体検査の助成や、小児への定期予防接種、それらの周知啓発を行う等、自治体と連携した風しん対策を継続して実施する。また、国内での風しんの発生状況等を注視し、必要に応じて対策の見直し等検討を行う。

# 風しん抗体保有の基準について

予防接種が推奨される風しん抗体価について(HI法)

厚生労働省  
平成26年2月

抗体価	妊娠を希望する女性など***、より確実に予防を行う必要がある方	左記以外の方
HI法*		
8倍未満	免疫を保有していないため、風しん含有ワクチンの接種を推奨します。	
8倍・16倍	過去の感染や予防接種により風しんの免疫はありますが、風しんの感染予防には不十分です。そのため、感染によりお腹の赤ちゃんなどへ影響が生じる可能性があります。確実な予防のため、風しん含有ワクチンの接種を推奨します。	過去の感染や予防接種により風しんの免疫があり、風しんの発症や重症化を予防できると考えられます。確実な予防のため、風しん含有ワクチンの接種を希望される方は、かかりつけ医師と接種についてよく御相談されたい。
32倍以上	風しんの感染予防に十分な免疫を保有していると考えられます。風しん含有ワクチンの接種は、基本的に必要ありません。	

出典：厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11921000-Kodomokateikyoku-Soumuka/13.pdf>)

風しんの感染予防に十分な免疫を保有している値：**HI法32倍以上**  
⇒群馬県風しん抗体検査事業  
群馬県感染症流行予測調査

## 風しんの追加的対策

風しんの第5期の定期接種の実施に向けた手引き (第4版)から抜粋  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000927414.pdf>

### 風しんの第5期の定期接種の対象となる抗体価基準

測定キット名 (製造販売元)	検査方法	抗体価 (単位等)
風疹ウイルスHI試験「生研」 (デンカ生研株式会社)	赤血球凝集抑制法 (HI法)	8倍以下 (希釈倍率)
R-HI「生研」 (デンカ生研株式会社)	赤血球凝集抑制法 (HI法)	8倍以下 (希釈倍率)

また、風しんの第5期の定期接種の対象となる抗体価はHI法で8倍以下 (8倍未満及び8倍以上16倍未満) であり、その他の検査法で相当する抗体価の値及び使用可能な検査キットの一覧については、1-1に記載の表を参照のこと。

風しんの追加的対策で  
予防接種を不要としている値：**HI法16倍以上**

## 感染症流行予測調査

国立感染症研究所ホームページから抜粋

2022年度風疹予防接種状況および抗体保有状況—2022年度感染症流行予測調査(暫定結果) (niid.go.jp)

2022年度調査における抗体価1:8以上の抗体保有割合は、生後0～5か月で50%、生後6～11か月で7%、1歳で77%であった。2歳以上の年齢・年齢群では、おおむね90%以上であった。男女別に比較をすると、女性では2～69歳の年齢・年齢群において、おおむね90%以上 (80-100%) であった。男性では40～69歳の年齢群で90%を下回り、40～44歳群で89%、45～49歳群で87%、50～54歳群で85%、55～59歳群で87%と、女性に比べて低かった (図2男性・女性)。

感染症流行予測調査 (国)  
で抗体ありとしている値：**HI法8倍以上**

# 風しん抗体保有の基準について

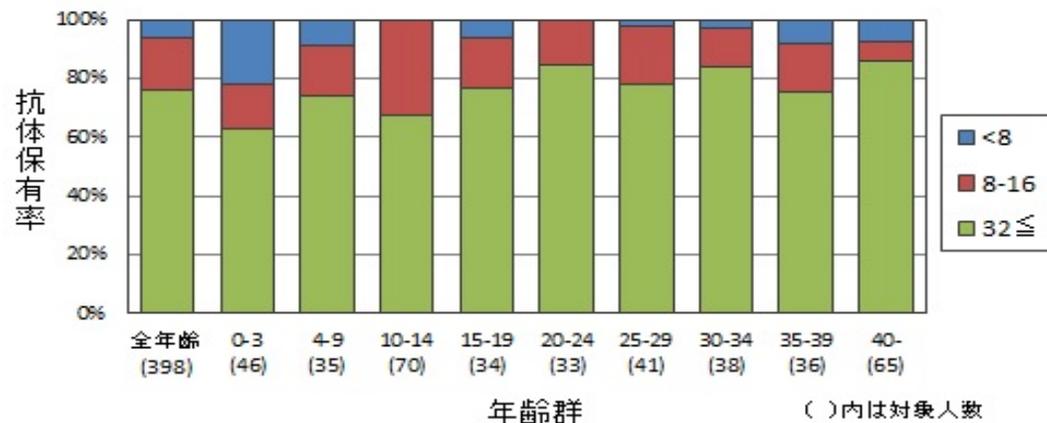
事業別	抗体保有の基準(抗体あり)
風しん抗体検査事業 (妊娠を希望する女性)	HI法32倍以上
群馬県感染症流行予測調査	HI法32倍以上
風しんの追加的対策 (風しん第5期)	抗体保有:HI法8倍以上 定期接種対象:HI法16倍未満
感染症流行予測調査(国)	HI法8倍以上

# 令和6年度群馬県感染症流行予測調査

## 風しん

- 対象：0～74歳の398名の血清
- 方法：赤血球凝集抑制試験法（HI法）
- 判定：HI法ではHI抗体価が1:8以上の場合に陽性と判定しますが、1:8及び1:16では十分な風しんの発症予防ができない可能性があると考えられています。そこで、HI抗体価が1:32以上の場合を抗体保有としました。
- 結果：HI抗体価1:32以上の抗体保有率は全体の76.1%で、昨年度（61.7%）より高い結果でした（図2）。年齢群別では、40歳以上（86.2%）で最も高い抗体保有率を示し、次いで20-24歳（84.8%）、30-34歳（84.2%）でした。HI抗体価が1:8未満の抗体陰性者の割合は全体の6.3%であり、昨年度（6.1%）と同程度でした。抗体陰性者の割合について年齢群別でみると、0-3歳が最も多く21.7%でした。また、4-9歳（8.6%）、15-19歳（5.9%）、25-29歳（2.4%）、30-34歳（2.6%）、35-39歳（8.3%）、40歳以上（7.7%）の6つの年齢群でも抗体陰性者が認められました。

図2 年齢群別風しん HI抗体保有状況



- HI抗体価1:32以上の抗体保有率は全体の76.1%（R5年度61.7%）
- 年齢群別の抗体保有率では、**40歳以上**が最も高い（86.2%）

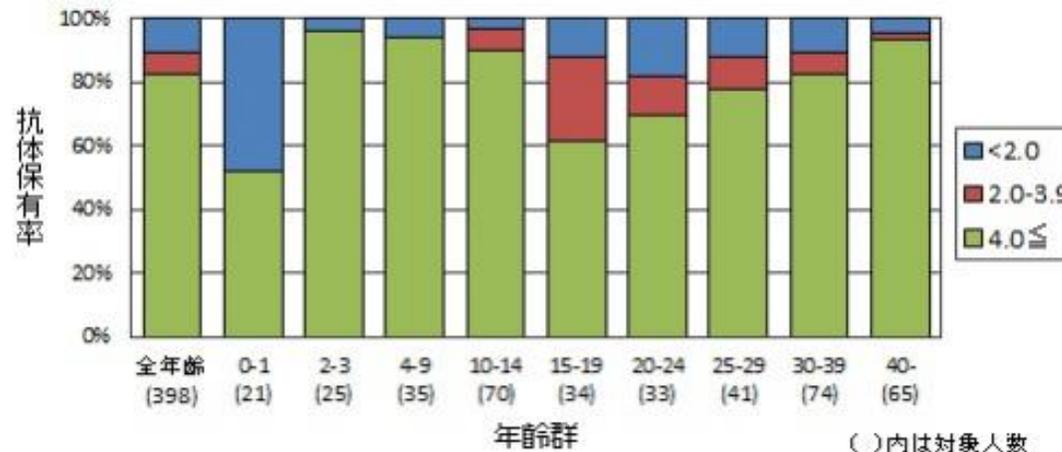
\*対象年齢：0～74歳

# 令和6年度群馬県感染症流行予測調査

## 麻疹

- 対象：0～74歳の398名の血清
- 方法：酵素免疫測定法（EIA法）
- 判定：検査キットの添付文書に従い、EIA抗体価が4.0以上の場合は陽性、EIA抗体価が2.0未満の場合は陰性、EIA抗体価が2.0以上で4.0未満の場合は判定保留としました。
- 結果：EIA抗体価4.0以上の抗体保有率は全体の82.7%で、昨年度（80.6%）と同程度でした（図1）。年齢群別では、2-3歳、4-9歳、10-14歳、40歳以上で90%以上の抗体保有率を示しました。抗体価2.0未満の抗体陰性者の割合は全体の10.3%でした（昨年度7.5%）。抗体陰性者の割合について年齢群別でみると、0-1歳が最も多く47.6%でした。今回の調査では全ての年齢群で抗体陰性者が認められました。

図1 年齢群別 麻疹 EIA抗体保有状況



■ EIA抗体価4.0以上の抗体保有率は全体の82.7%  
(R5年度80.6%)

\*対象年齢：0～74歳

# 群馬県風しん抗体検査事業

事業内容	県内の医療機関に委託して、風しんウイルス抗体検査(HI法)を実施
目的	個人予防(主に <b>先天性風しん症候群予防</b> ) 先天性風しん症候群の発生防止及び風しんのまん延防止のために、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するとともに、県民の風しん予防に対する意識の向上を図る。
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>・妊娠を希望する女性</li><li>・妊娠希望女性の同居者</li><li>・抗体価の低い妊婦の同居者</li></ul>
実施主体	都道府県＋保健所設置市
本県における事業開始時期	平成26年4月～
根拠	特定感染症検査等事業実施要綱
事業費の負担割合	国1/2 県1/2

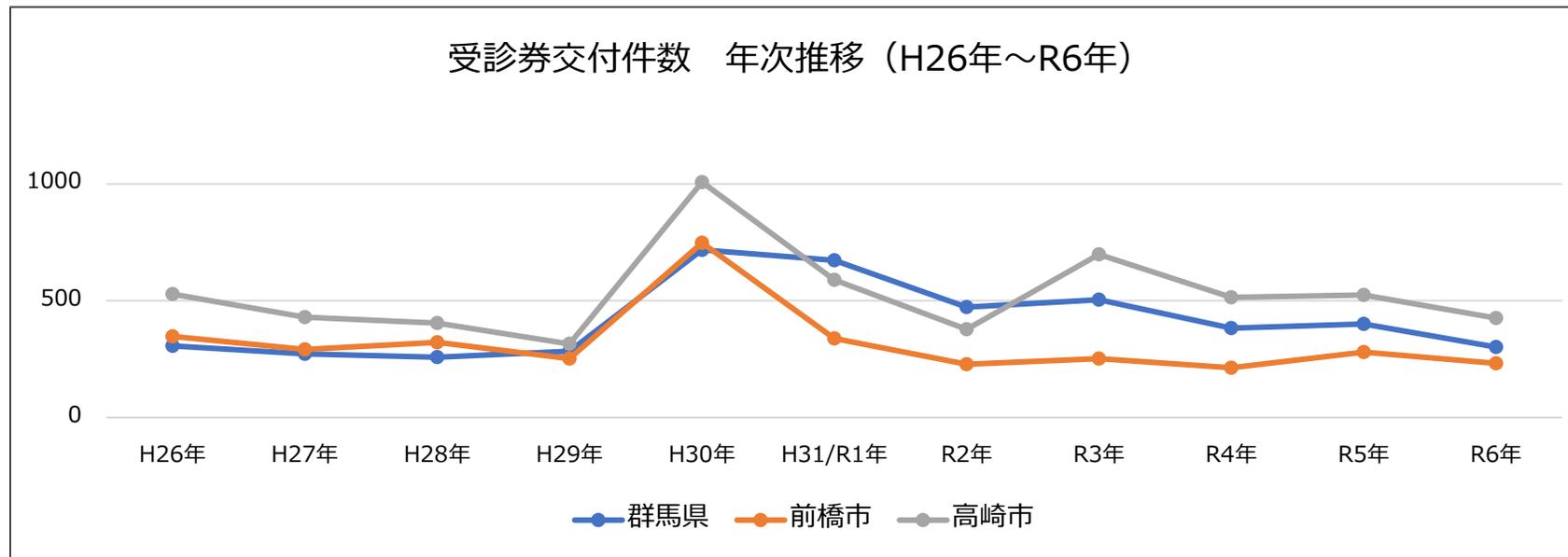
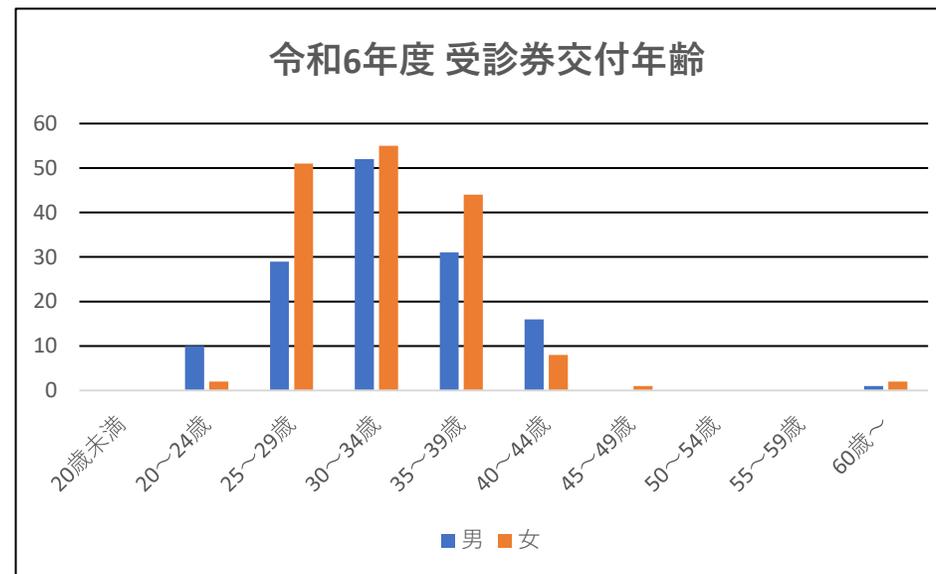
# 令和6年度群馬県風しん抗体検査事業

## ■ 受診券交付件数 (件)

女性	163
男性	139
合計	302

## ■ 県内受診券交付件数 (件)

群馬県	302
前橋市	232
高崎市	426
合計	960

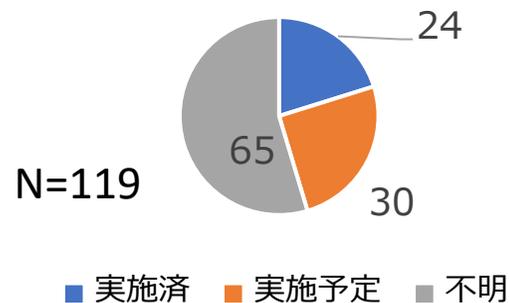


# 令和6年度群馬県風しん抗体検査事業

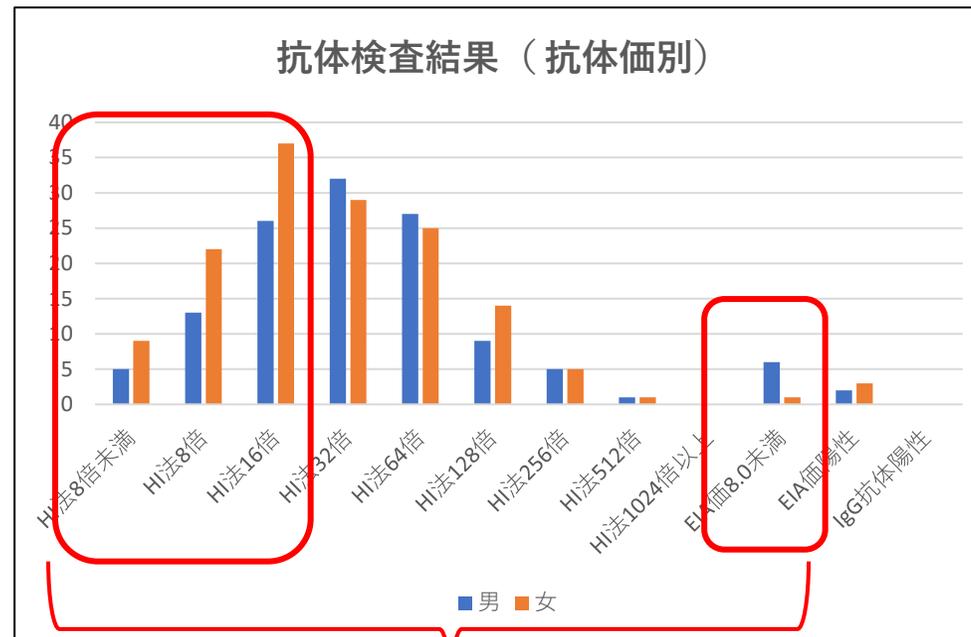
## ■抗体検査実施件数（件）

女性	146
男性	126
合計	272

## <感受性者の予防接種実施状況>



## 抗体検査結果（抗体価別）



**感受性者 43.8%**

## ■抗体検査実施後の予防接種実施状況

※報告書に記入があった者に限る

抗体価	予防接種勧奨	予防接種実施	実施予定	
HI法8倍未満：	14名	13名	1名	5名
HI法8倍：	35名	29名	6名	14名
HI法16倍：	63名	44名	15名	11名
EIA価8.0未満：	7名	3名	2名	0名
合計	119名	89名	24名	30名

# MRワクチンの流通状況について①

乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）は令和6年度当初から武田薬品工業社ワクチンの製品不具合による供給不足が続いている  
⇒ 改善傾向ではあるが円滑な接種の実施に支障が生じている

※MRワクチン製造事業者：①武田薬品工業株式会社 ②第一三共株式会社 ③阪大微生物病研究会

## 供給不足の経緯

- R 6.1 …武田薬品の製品不具合により自主回収・他の2社も含め限定出荷対応
- R 6.3 …国が定期接種を優先した適正な流通を依頼（通知）
- R 6.4 …武田薬品の出荷が再開するも製品の有効期限を短縮  
⇒ 武田社ワクチン使用医療機関を中心に供給が不足傾向に
- R 6.10 …武田薬品が一部ロットの出荷見合わせのため不足が顕著に  
⇒ 国は他の2社に供給を前倒し（代替品目の供給）するよう依頼
- R 6.11 …武田薬品がR 6年度内の出荷停止を公表  
⇒ 国は他の2社の供給で「R 6年度の不足分を確保可能」と通知
- R 7.1 …武田薬品が出荷停止を継続し「R 7.12以降の出荷再開を目指す」と発表

- 一定の供給量を確保しても医薬品流通の構造的な問題から地域・施設間偏在が発生
- 現在はやや改善傾向が認められるが定期接種の円滑な実施に支障が出ている状態

当面の間(令和7年12月以降まで)供給が安定せず、接種を受けにくい状況が続く可能性が高い

## ◎群馬県の対応

- 医師会及び医薬品卸協同組合と連携した予約者数・在庫状況調査を実施
- 調査結果を基に県内の流通調整を実施（適正発注・納品と地域偏在解消を依頼）
- 国へ情報提供するとともに製造事業者への供給調整・制度的対応を要望

### (1) ワクチン予約者数・在庫状況調査

#### ① 第1回調査結果（令和6年10月）

- ・ 半数以上の医療機関が接種希望に応じられていない状況
- ・ 東毛地区を中心に不足状況が顕著であり、地域偏在が生じている

#### ② 第2回調査結果（令和7年2月）

- ・ 約半数の医療機関が接種希望に応じられていない状況
- ・ 第1回調査以後の流通状況について90%以上が「悪化」「変化無し」と回答
- ・ 在庫量が必要量の4割に届いておらず、希望しても接種できないまま定期接種期間が終了する者が多数発生する可能性がある

### (2) 県内の流通調整

- ・ 医薬品卸協同組合と連携し地域偏在解消のための流通調整を実施

### (3) 国への情報提供・要望

- ・ 国に「供給量に対する国の認識と地域の実情が異なる」旨情報提供
- ・ 県単位の対応では限界があることから、製造事業者への積極的な供給調整と、供給不足で定期接種が受けられない者への制度的対応を要望

## ◎国の対応：日本小児科医会や群馬県等自治体の意見・要望に対応

- 製造事業者に対して、卸に供給スケジュールを早期に提示して出荷量見通しの不安を解消するよう要請。
- 卸各社に対して、不足を訴えた自治体・医療機関への配送及び安定供給について協力要請するとともに、医療機関への供給見通しを早期に提示するよう依頼。
- 接種できずに定期接種期限を迎える者が一定数想定されることから、3月末までに接種ができなかった者について、2年間の接種期間の延長を行う。

### (1)令和6年度内にMRワクチンを接種できなかった者への対応について

- 供給不足により令和6年度内に定期接種期間に接種できなかった者については、**令和7年4月1日から2年間、定期予防接種の特例として公費接種を受けられる**

### (2)対象者：令和6年度に定期接種対象であった以下の者

- ①第一期：1歳以上2歳未満の小児
- ②第二期：年長の学年（小学校入学前の1年間）の小児
- ③第五期：抗体保有率が低い昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれ（令和6年度に45歳から62歳）の男性

※ 今年4月から就学する方の接種期間のイメージ（第2期）

ワクチンの大幅な供給不足等を理由にやむを得ず法定期間内に接種できなかった場合、**本来の期間を超えて公費で接種可能**となる



## ◎現在の流通状況と今後の見通し

### ■ 県内卸売業者の流通状況の推移

#### (1) 令和7年1月下旬

- 既存の得意先には柔軟に対応できている卸もあるが、全体的に厳しい状況
- 武田社ワクチンの取扱量が多かった卸を中心に、需要に応えられない
- 武田社の代替品を中心に卸間の流通量の偏在が見られる

#### (2) 令和7年2月下旬

- 武田社ワクチンの代替品の供給量が増加し、供給状況が改善傾向
- 依然として医療機関からの発注数に100%応じられる状況ではない

#### (3) 令和7年5月中旬

- 代替品が順調に入荷するようになり、在庫に余裕が出てきた卸もあり
- 一方で予約数に応じた納品ができない卸もあり、全体的には未だ潤沢とは言えない状況が継続している

**MRワクチンの流通状況を引き続き注視する**

✓ 武田社ワクチンの供給開始(早くても令和7年12月以降)までは供給不足が継続する可能性がある

# 令和7年度 群馬県麻疹・風しん対策会議の取組（案）

## 1 ワクチン接種について

第1期（満1歳以上2歳未満）・第2期（5歳以上7歳未満で、次年度に小学校へ入学する人）予防接種について、県平均95%以上の接種率を達成・維持する。

- ・接種率の低い市町村に対する支援、助言
- ・未接種者に対する勧奨の強化

## 2 周知啓発

抗体検査・任意接種の啓発を強化する。

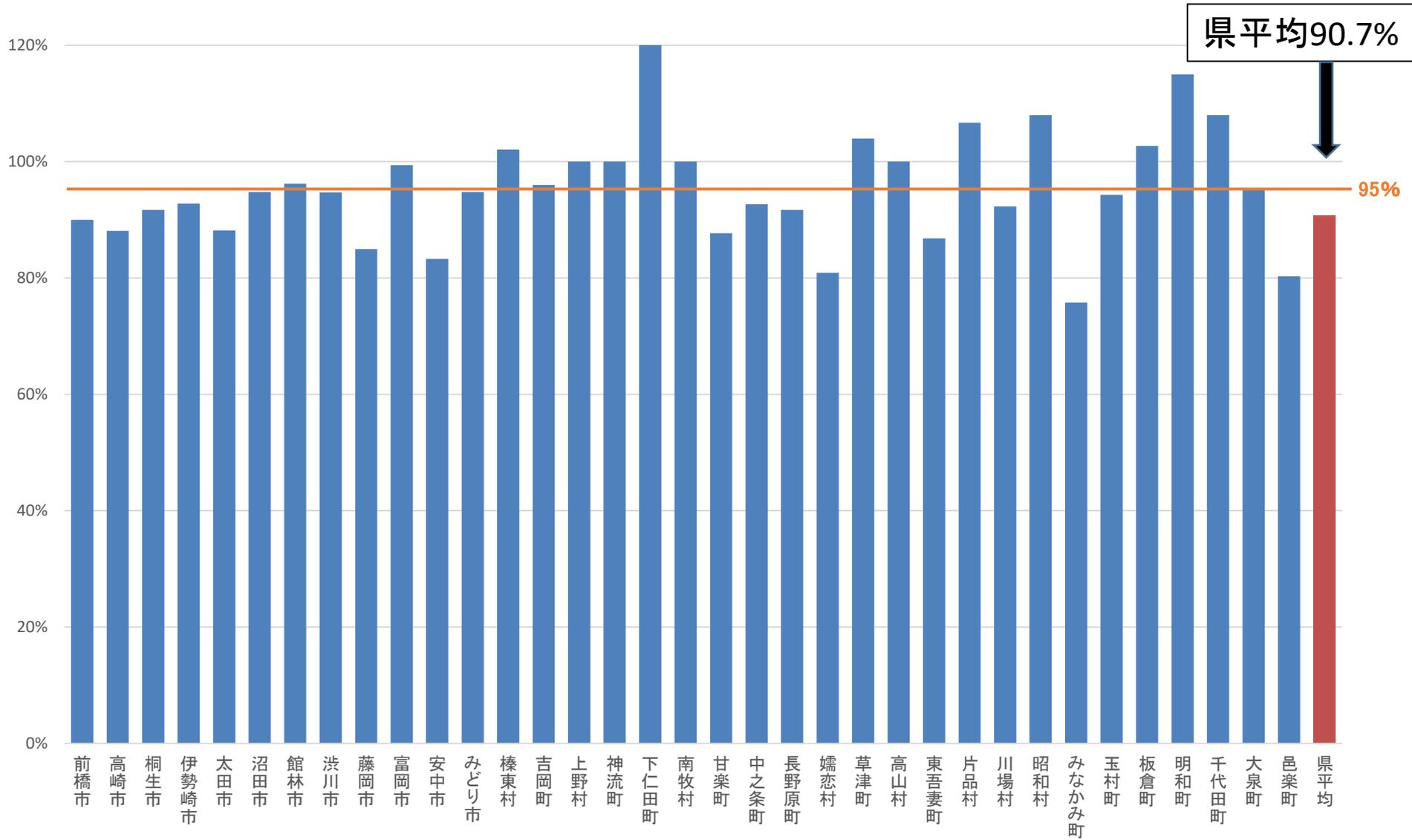
- ・医療関係者、児童福祉施設等職員、学校等職員、海外渡航者、公共交通機関、観光業関係者に対する予防啓発
- ・妊娠希望女性及びその周囲の者に対する任意接種の啓発強化

## 3 平常時からの準備

平常時から患者発生に備える。患者発生時は迅速に対応する。

- ・疑い段階からの情報収集、関係機関連携（情報共有）
- ・遺伝子検査による確実な診断
- ・麻疹患者発生時の感染拡大防止措置の強化  
（感染拡大防止のため、必要な限度で、患者が感染性のある時期に立ち寄った場所等の公表・医師会等への迅速な情報提供を実施）

# R6年度 第1期 市町村別MRワクチン接種率



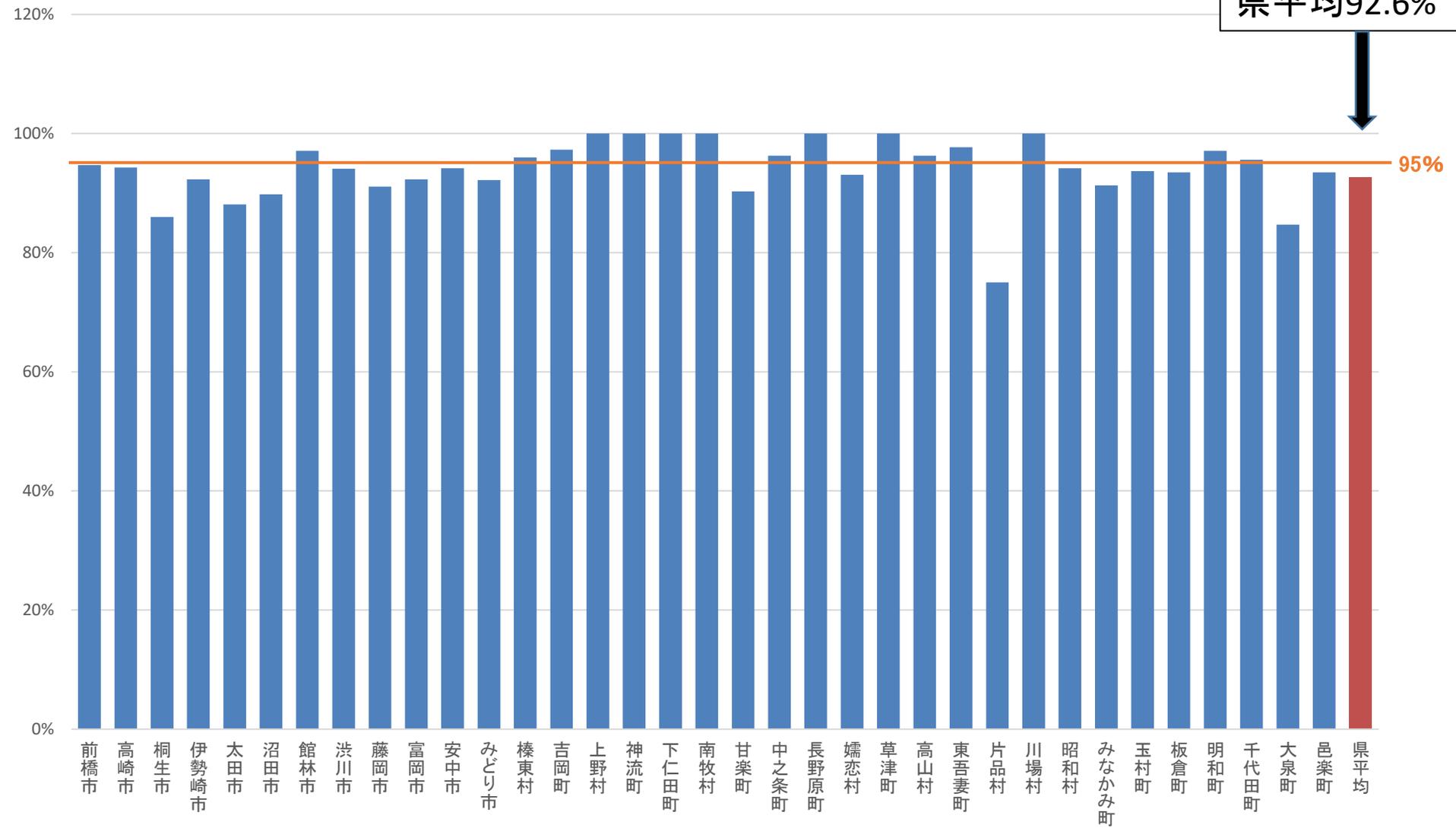
追加資料

# R6年度 第2期 市町村別MRワクチン接種率

県平均92.6%



95%



追加資料

# 定期接種率が95%を上回った/前年度より上がった理由

～市町村への聞き取りから～

## ○保護者の意識向上・予防接種の積極的勧奨

- ・未接種者に対する電話、はがきによる個別の接種勧奨
- ・乳幼児健診の保健指導で接種歴の確認と、未接種者への接種勧奨（直接勧奨）
- ・入学説明会、就学時健診等でのチラシ配布
- ・ホームページ、公式LINE、Instagram、広報等による情報発信
- ・市町村独自のモバイルアプリ（予防接種スケジュール管理アプリ）での周知
- ・新生児訪問時に予防接種の必要性について説明

## ○環境上の理由

- ・国内での麻しんの流行により、MRワクチンへの関心が高まった
- ・予診票再発行手続きの電子化
- ・集団接種と個別接種の両方をもうけた

## ○集計上、人口上の理由

- ・転入者や出生数が多く、接種者数が対象者数を上回った
- ・前年度中に1歳になった児が年度を跨いで接種を行った

# 定期接種率が95%を下回った/前年度より下がった理由

～市町村への聞き取りから～

## ○MRワクチンの供給不安定

- ・予約制限を行っていたため、接種したくても予約ができなかった
- ・接種期間の延長やワクチン不足により、接種勧奨が十分にできなかった

## ○保護者の意識・環境上の理由

- ・保護者が予防接種を希望しない（自然派育児、反ワクチン派）
- ・予防接種に対する保護者の理解・関心不足

## ○勧奨の方法の課題

- ・外国籍児への予防接種案内、接種歴の把握等

## ○集計上・人口上の理由

- ・他市町村や国外で接種した児が計上されていない（転入者）
- ・対象年齢人口が少ない市町村は、一人の未接種でも接種率が大きく低下
- ・対象者数の基準日の関係で、出生数の低下や対象児の転出に伴い（未接種者が居なくても）接種率が低下する